



# IXIL ラシッサUD アウトセット方式 片引戸(自閉機能) 取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

## ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**▲注意** …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

## ▲注意

●レールベースの固定強度が十分でない場合、本体脱落のおそれがありますので、下記事項をお守りください。

- ・レールベース、枠を固定する下地材はまぐさ、柱などの硬木としてください。
- ・躯体が軽量鉄骨の場合は開口補強材、もしくは厚さ12mm以上の合板をレールベース固定位置に設置してください。ランナー・スタッドにはねじを効かせないでください。
- ・レールベースを厚さ12mm以上の合板に固定する場合は、ランナー・スタッドを避け、ねじは完全に貫通させてください。
- ・軽量鉄骨納まりで、レールベースを開口補強材に固定する場合は、組立ねじセット同梱のドリルねじを使用してください。
- ・ねじは指定のものを指定本数使用して固定してください。
- ・六角ボルトは必ず戸先にM6×14、戸尻にM6×20を使用してください。
- ・外れ止め金具を必ず固定してください。

## ■取付け上のおお願い

- 納品時に各部材・部品を検品してください。万一製品に不具合があった場合は、必ず取付け前にお買い求め店までご連絡ください。(施工後の色調・不具合・キズなどによる交換はできません。)
- 運搬・加工の際は、キズ付かないように取扱ってください。また、水・直射日光のあたる場所に開梱状態で置かないでください。ソリ・ねじれの原因になります。
- 枠は取付け前に開梱した状態で現場に置かないようにしてください。現場の粉塵が上レールや吊車に付着し、作動不良の原因になります。
- 本製品の組立て・取付け時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や、枠の垂下がり・ゆがみなどの原因となります。(本説明書内で「現場手配」と記されている場合は除きます。)
- 本体は落下させたり、立てかける時に衝撃を与えないでください。本体部品が損傷し、開閉に支障をきたす原因になります。
- クッションフロアや弾性がある床に施工する場合は、必ず床付ガイドローラーの下に合板などの下地材を入れてください。開閉に支障をきたす原因になります。
- 別梱のバーハンドルセット内に同梱されている「戸当たり」「戸当たり受け」は本製品には不要ですので、取付けしないでください。
- 製品取付けの際の建具養生時に表面シートにテープ(ガムテープ、養生テープ、マスキングテープなど)を直貼りしないでください。テープをはがす際、表面シートを傷めたり、テープの粘着剤が表面シートに付着したまま残ることがあります。

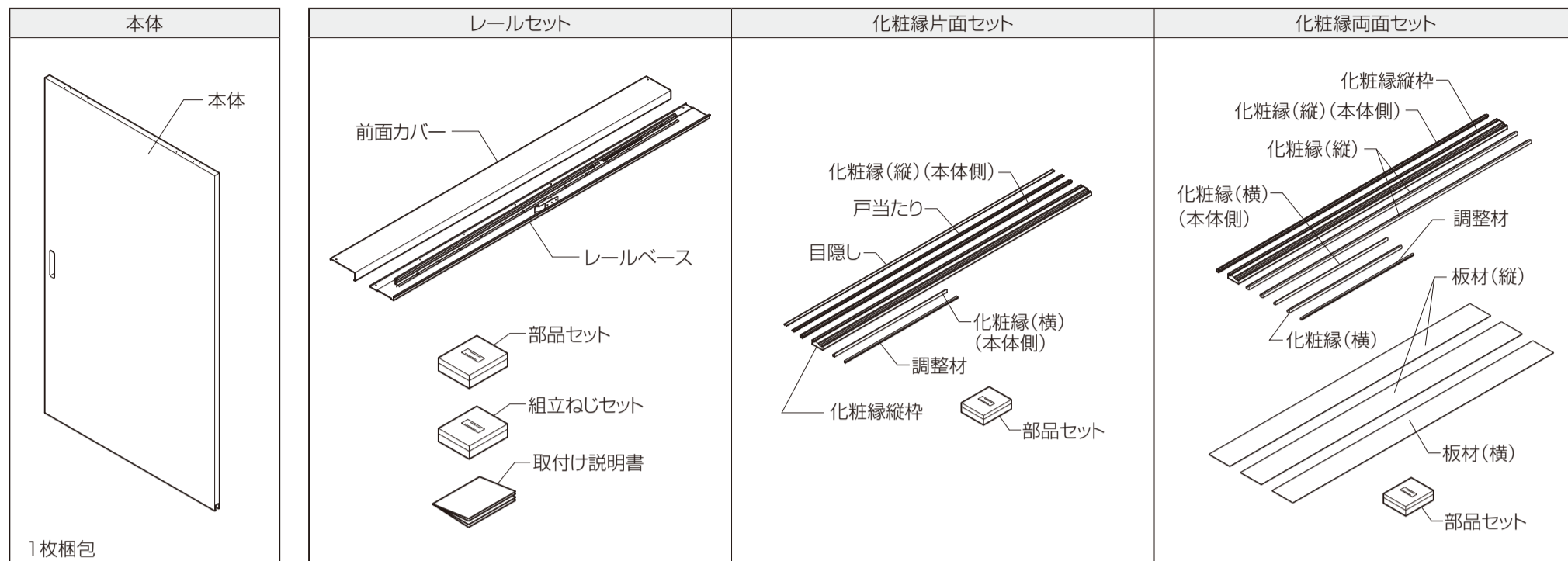
## ■本体保管上のおお願い

- 本体のソリ・ねじれ防止のため、下記場所に置いたり、保管しないでください。
    - ・直射日光の当たる場所・昼夜などで温度差の激しい場所・湿気の多い場所
  - 本体を長期間保管する場合は、寝かせた状態で保管してください。立て置きでの保管はソリ・ねじれなどの原因になります。
- ※建築工事中は、本体を養生・保全のため取外しておき、取付け完了後に吊込むことをおすすめします。

本製品を三方枠仕様で納める場合は、先に三方枠を取付ける必要があります。  
三方枠の上枠セットに同梱の取付け説明書に従い、三方枠を取付けた後、本説明書に従い施工を行ってください。

## ■部品・部材の明細

※枠はロックダウン、本体は完成品です。



### ■レールセット

名称	入数
レールベース	1
前面カバー	1
部品セット	1
組立ねじセット	1
取付け説明書	1

### ■化粧縁片面セット

名称	入数
化粧縁縦枠	1
化粧縁(縦)(本体側)	1
化粧縁(横)(本体側)	1
★調整材	1
戸当たり	1
目隠し	1
部品セット	1

※★の部品は本製品では使用しません。

### ■化粧縁両面セット

名称	入数
化粧縁縦枠	1
化粧縁(縦)(本体側)	1
化粧縁(縦)	2
化粧縁(横)(本体側)	1
化粧縁(横)	1
★調整材	1
板材(縦)	2
板材(横)	1
戸当たり	1
目隠し	1
部品セット	1

※★の部品は本製品では使用しません。

### ■三方枠セット

上枠セットに同梱の  
取付け説明書を参照ください。

### ■部品セット(レールセット同梱)

名称	入数
床付ガイドローラー (六角タッピンねじφ4×25、ワッシャ、 カールプラグ付)	1
戸車 (外れ止め金具、なべ小ねじM5×12、 ★六角ボルト付)	2
調整スペーサー	8
制動装置 (なべ小ねじM5×12付)	1
全開ストップローラー (なべ小ねじM5×12付)	1
戸当たり (トラスタッピンφ4×8付)	1
吊金具(戸先) (皿タッピンねじφ4×35、六角ボルト M6×14付)	1
吊金具(戸尻) (皿タッピンねじφ4×35、六角ボルト M6×20付)	1

※★の部品は本製品では使用しません。

### ■組立ねじセット(レールセット同梱)

名称	入数
レールベース取付け用トラスタッピンねじφ4×50	16
レールベース取付け用なべドリルねじφ4×50	16
ナイロン化粧ねじM3×8(白・黒)	各2
端部キャップ固定ステー	2
端部キャップL	1
端部キャップR	1

### ■中縦枠付けガイドピン(別売り)

名称	入数
中縦枠ガイドピン	1
皿タッピンねじφ4×20	2
取付け説明書	1

### ■本体ストッパー(別売り)

名称	入数
本体ストッパー	1
★皿タッピンねじφ4×25	3
皿タッピンねじφ4×30	3
★皿タッピンねじφ4×60	3
ワッシャ	5
コンクリートプラグ	3

※★の部品は本製品では使用しません。

### ■フリーストップ(別売り)

名称	入数
フリーストップ	1
なべ小ねじM5×12	2

### ■両側バーハンドルセット(別売り)

名称	入数
バーハンドル・オス	4
バーハンドル・メス	2
皿小ねじM5×30	2
取付け説明書	1
★戸当たり	1
★戸当たり受け	1
★戸当たり固定ねじ	1

※★の部品は本製品では使用しません。

### ■プッシュ錠(別売り)

名称	入数
プッシュ錠本体	1
錠座カバー ※シリンダー錠のみ	1
皿タッピンねじφ3.5×16 ※シリンダー錠のみ	2
カギ ※シリンダー錠のみ	3
取付け説明書	1

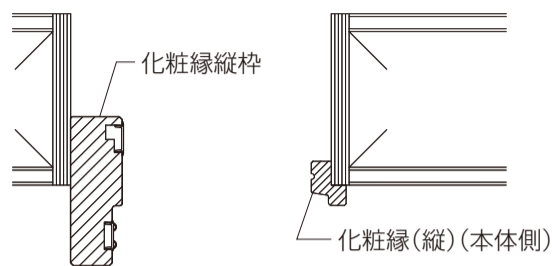
## ■取付け前の準備

### ■納め方の確認

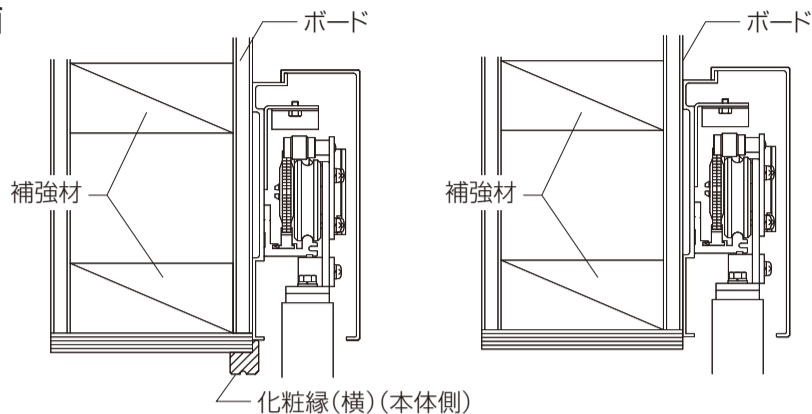
アウトセット片引戸は下記の納め方で取付けることができます。どの納め方で取付けるかを最初に確認してください。

#### 片面化粧縁納まり

##### ●横断面図

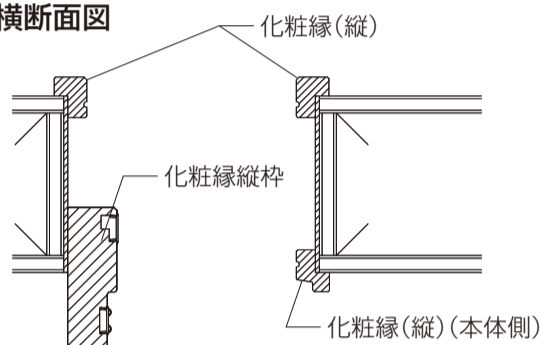


##### ●縦断面

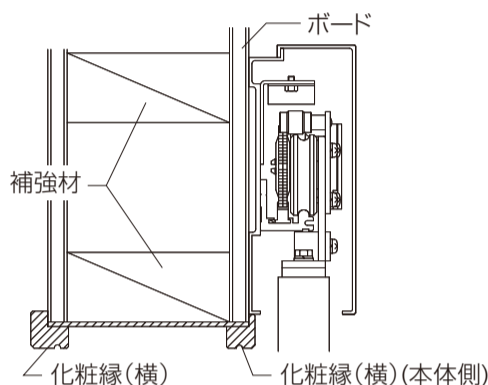


#### 両面化粧縁納まり

##### ●横断面図

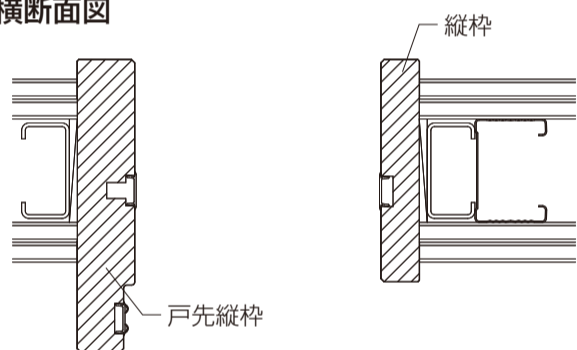


##### ●縦断面

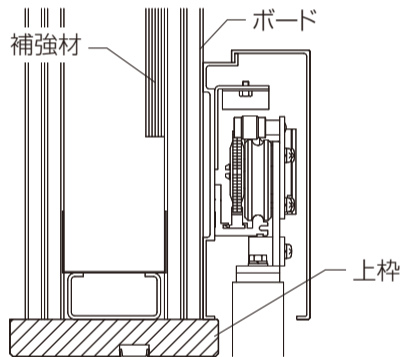


#### 三方枠納まり

##### ●横断面図



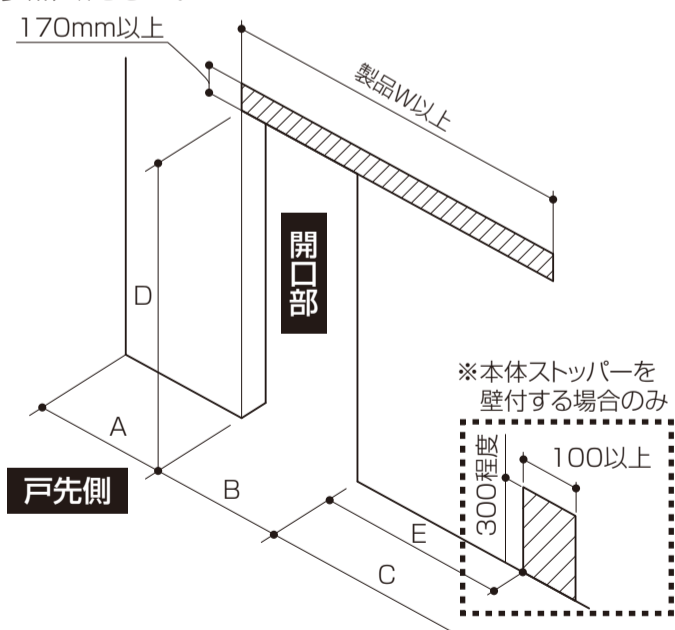
##### ●縦断面図



### ■開口部の作成

片面化粧縁納まり 両面化粧縁納まり の場合(図は室外側から見たL仕様を示します。R仕様は対称となります。)

※ 三方枠納まり の場合は三方枠上枠セットに同梱の取付け説明書を参照ください。



##### ●規格品

W 呼称	W	DW	A	B		C
				片面化粧	両面化粧	
20	2025	1068	0 以上	1071	1077	980 以上
22	2225	1168	0 以上	1171	1177	1080 以上
26	2625	1368	0 以上	1371	1377	1280 以上

H 呼称	H	DH	D	
			片面化粧縁	両面化粧縁
20	2197	2034	2015	2018

※天井高さはH+100mm以上確保してください。

##### ●特寸

W 特寸範囲	W	DW	A	B		C
				片面化粧	両面化粧	
1425 ≤ W ≤ 2625	W	(W+111)/2	0 以上	(W+117)/2	(W+129)/2	(W-65)/2 以上

H 特寸範囲	H	DH	D	
			片面化粧縁	両面化粧縁
1959 ≤ H ≤ 2317	H	H-163	H-182	H-179

※天井高さはH+100mm以上確保してください。

##### ●本体ストッパーを壁付する場合

W 呼称	W	E
20	2025	904
22	2225	1004
26	2625	1204
特寸	W	(W-217)/2

※現場の納まりに合わせて下地(100×300 厚み45mm以上)を入れてください。

A、B、C、D、E寸法は壁を仕上げた状態の寸法としてください。

### ▲ 注意

- 下地材の強度が十分でない場合、本体脱落のおそれがありますので、下記事項をお守りください。
- ・ 枠、レールベースを固定する下地材はまぐさ、柱などの硬木としてください。
- ・ 躯体が軽量鉄骨の場合は開口補強材、もしくは厚さ12mm以上の合板をレールベース固定位置に設置してください。ランナー・スタッドにはねじを効かせないでください。

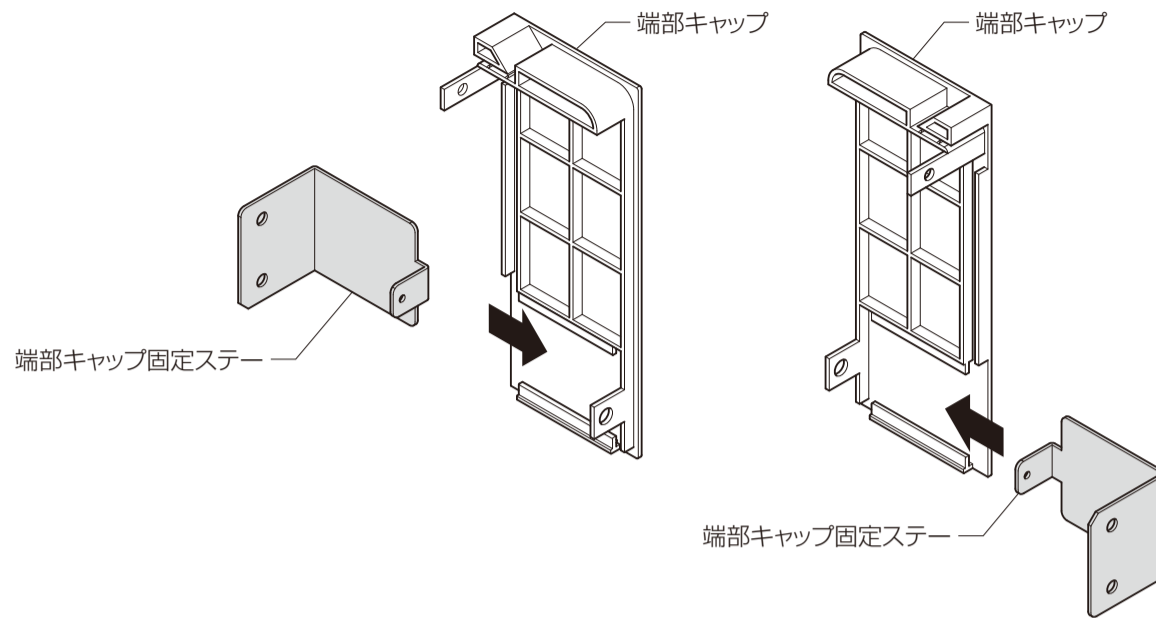
### 取付け上のお願ひ

※クッションフロアや弾性がある床に施工する場合は、必ず床付ガイドローラーの下に合板などの下地材を入れてください。開閉に支障をきたす原因になります。

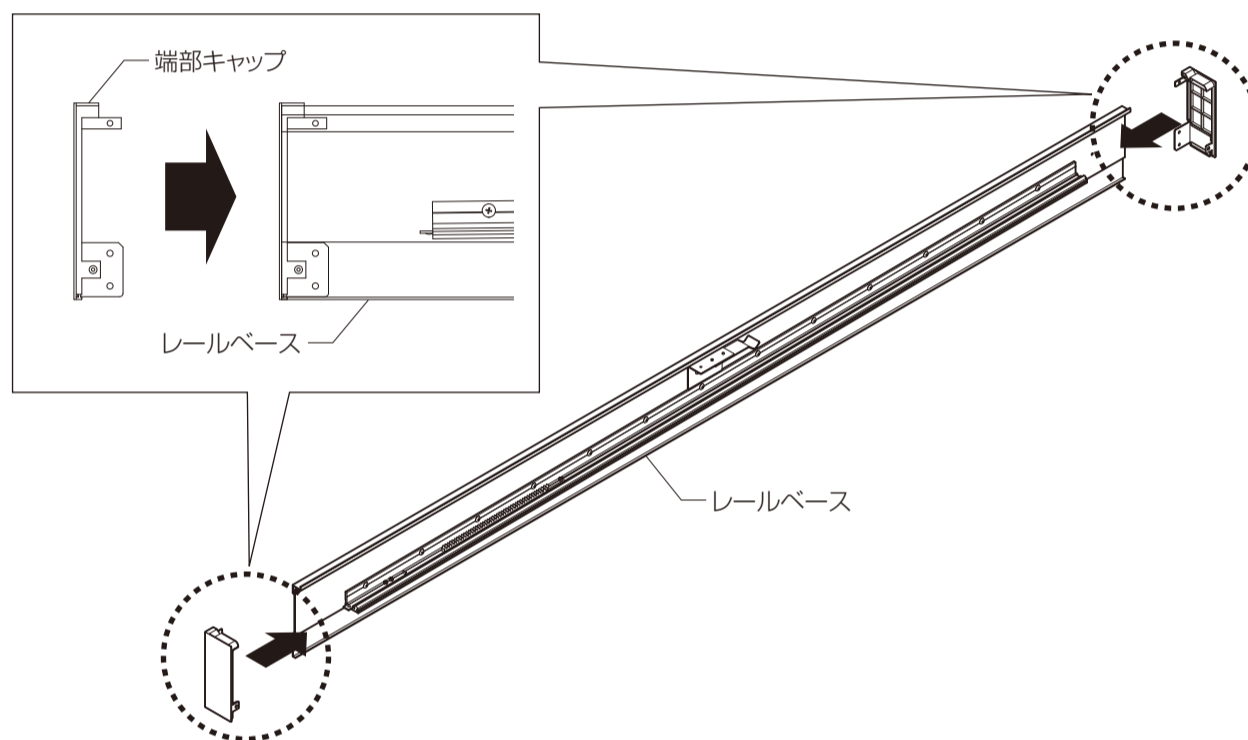
## ■取付け順序

### 1 部品の取付け

①端部キャップに端部キャップ固定ステーを差し込んでください。



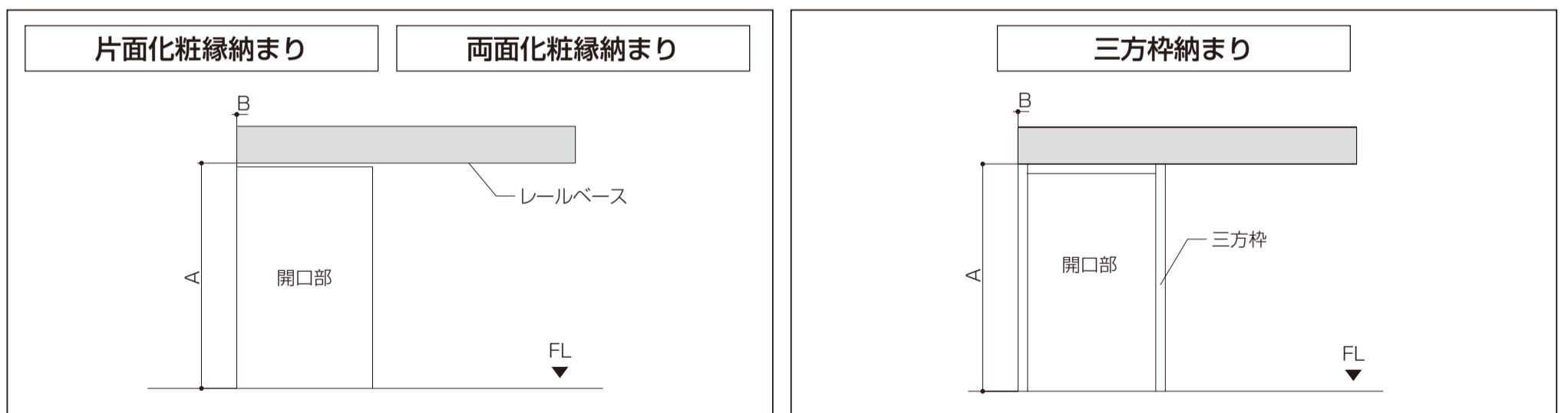
②レールベースに端部キャップを差し込んでください。



### 2 レールベースの取付け

#### 【レールベース固定位置】

レールベースは、納まりによって取付け位置が変わります。



H呼称	A
20	2023
H特注時	H-174

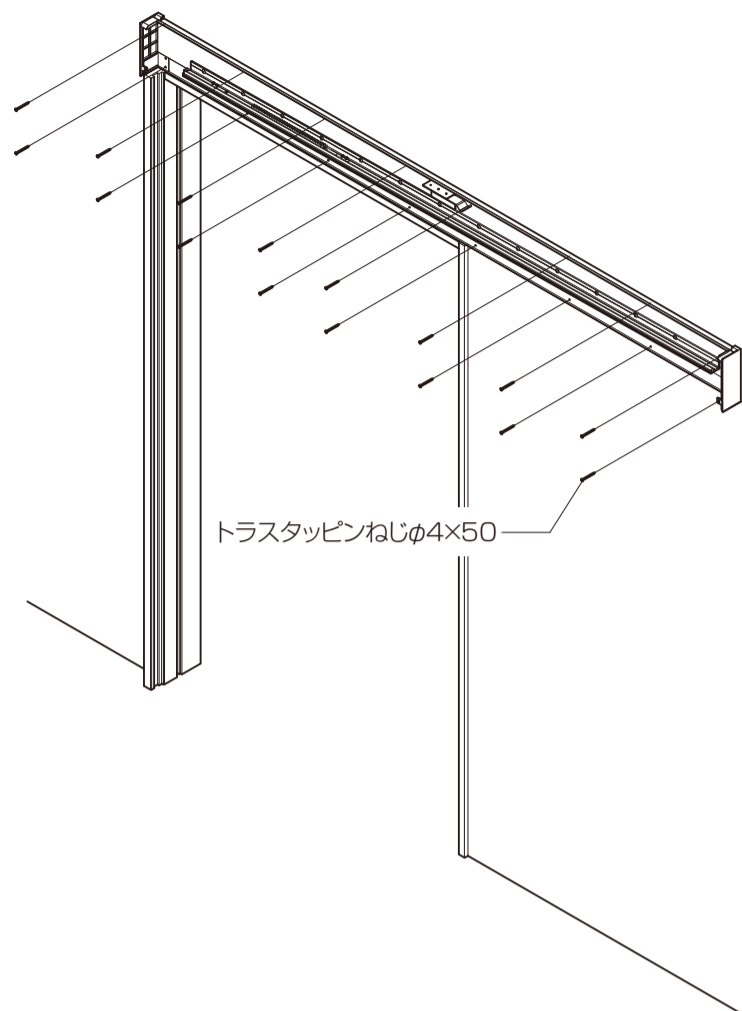
納まり	B
片面化粧縁	0
両面化粧縁	3
三方枠	0

A: 床～レールベース下端までの距離

B: 端部キャップ外面～開口部(三方枠の場合は縦枠外面)までの距離



②レールベースをトラスタッピンねじφ4×50で固定してください。



トラスタッピンねじφ4×50

**▲ 注意**

- 下地材の強度が十分でない場合、本体脱落のおそれがありますので、下記事項をお守りください。
- ・レールベースを厚さ12mm以上の合板に固定する場合は、ランナー・スタッドを避け、ねじは完全に貫通させてください。
- ・軽量鉄骨納まりで、レールベースを開口補強材に固定する場合は、組立ねじセット同梱のドリルねじを使用してください。
- ・ねじは指定のものを指定本数使用して固定してください。

取付け上のお願ひ

- ※組立後の移動は必ず2名以上で行ってください。
- ※レールベースは必ず水平に取付けてください。水平でない場合、開閉不良につながります。

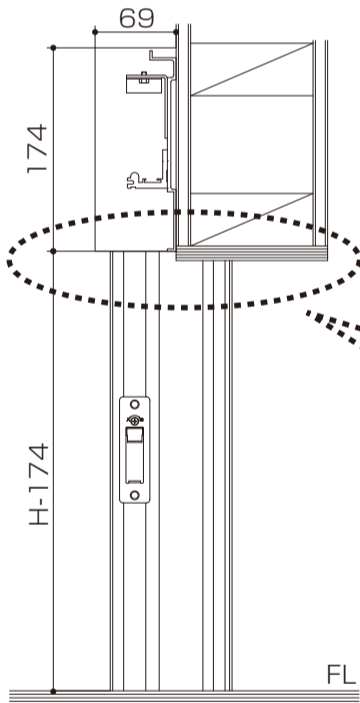
**3 縦枠の取付け**

片面化粧縁納まり 両面化粧縁納まり の場合のみ

※ 三方枠納まり の場合は**3 床付ガイドローラー**の取付けまで進んでください。

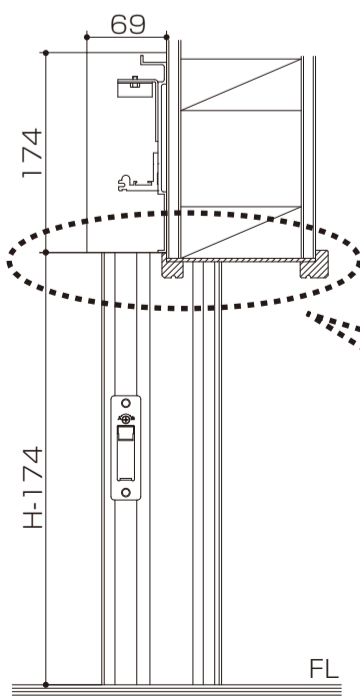
①現場の納まりにあわせて縦枠の切断加工します。

片面化粧の場合



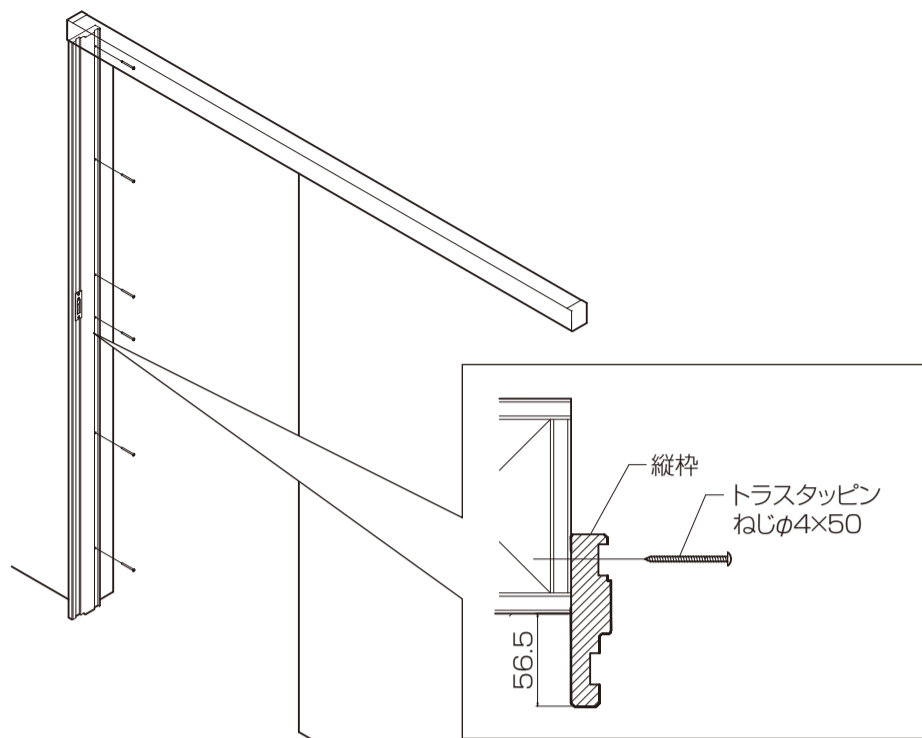
	化粧縁なし納まり例	化粧縁仕様納まり例
縦断面		
加工寸法		

両面化粧の場合



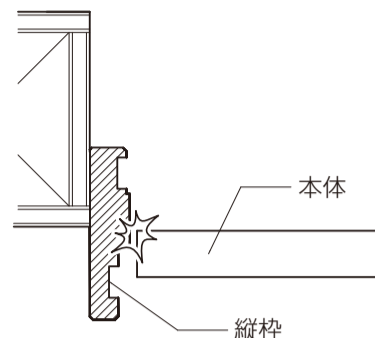
	化粧縁なし納まり例	化粧縁仕様納まり例
縦断面	-	
加工寸法	-	

②縦枠をねじで固定してください。

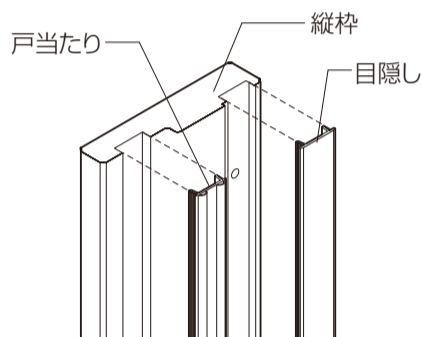


お願い

※縦枠は、垂直を出して取付けを行ってください。本体が縦枠の突起に当たり、閉まり切らなくなります。



※戸当たり・目隠しを現場の寸法に合わせて切断し、接着剤(現場手配)をつけて取付けてください。



お願い

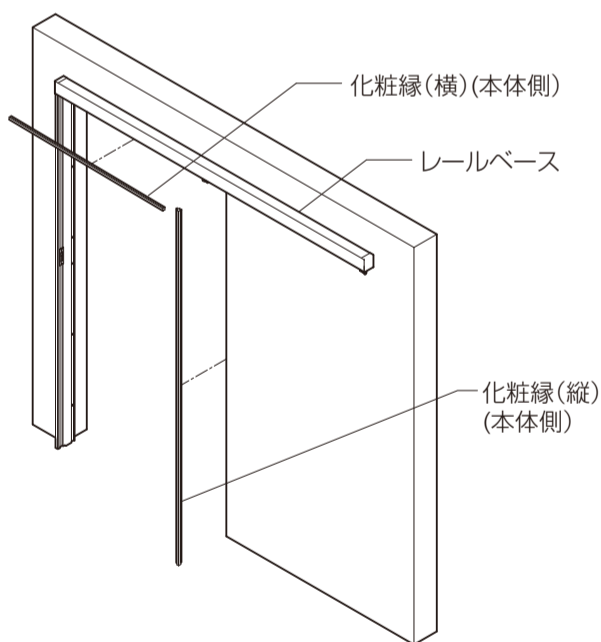
※現場で使う接着剤は、「F☆☆☆☆」またはノンホルムタイプを使用してください。

#### 4化粧縁の取付け

片面化粧縁納まり 両面化粧縁納まり の場合のみ

※三方枠納まりの場合は5床付ガイドローラーの取付けまで進んでください。

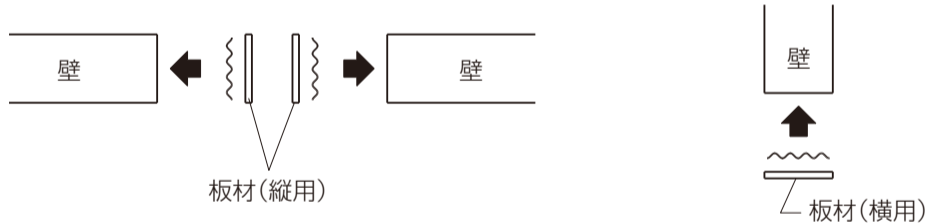
#### 片引戸



#### 両面化粧縁の場合

※板材を現場寸法に合わせて切断し、開口部に取付けた後に化粧縁を取付けてください。  
 ※板材の開口部への取付けは、裏面(〰️面)に接着剤(現場手配)を塗布して固定してください。  
 板材への化粧縁材の固定用接着剤は同梱のポリネートチューブを使用してください。

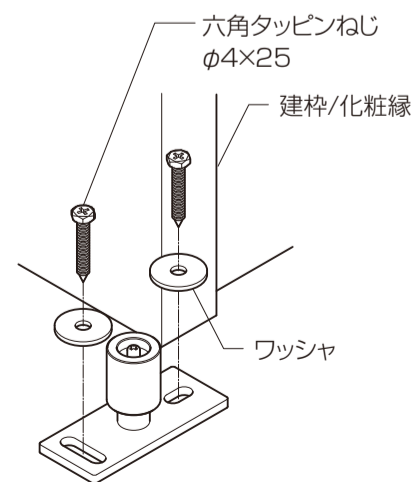
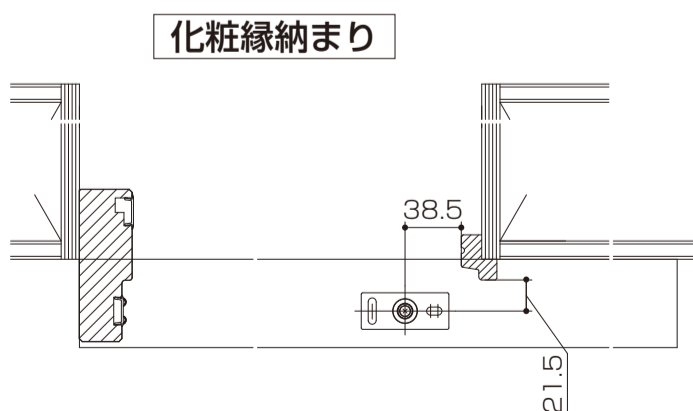
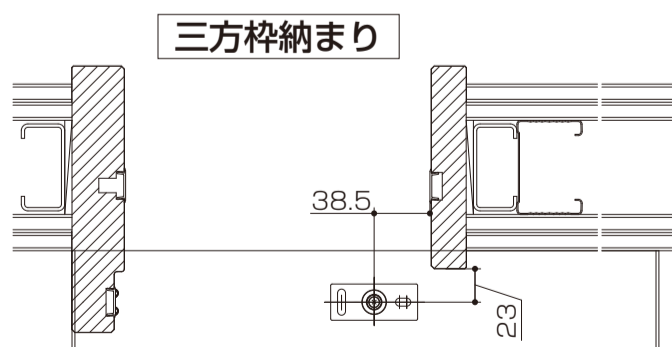
#### ●横断面図



- ①化粧縁材を現場寸法に合わせて切断します。
  - ②化粧縁材の裏面に接着剤(現場手配)を塗布し、専用のかくし釘で固定します。
- ※かくし釘のピッチは、200~300mmです。  
 ※化粧縁材の取付け面は、接着剤がつくように仕上げてください。

#### 5床付ガイドローラーの取付け

●床付ガイドローラーを六角タッピンねじφ4×25で固定してください。



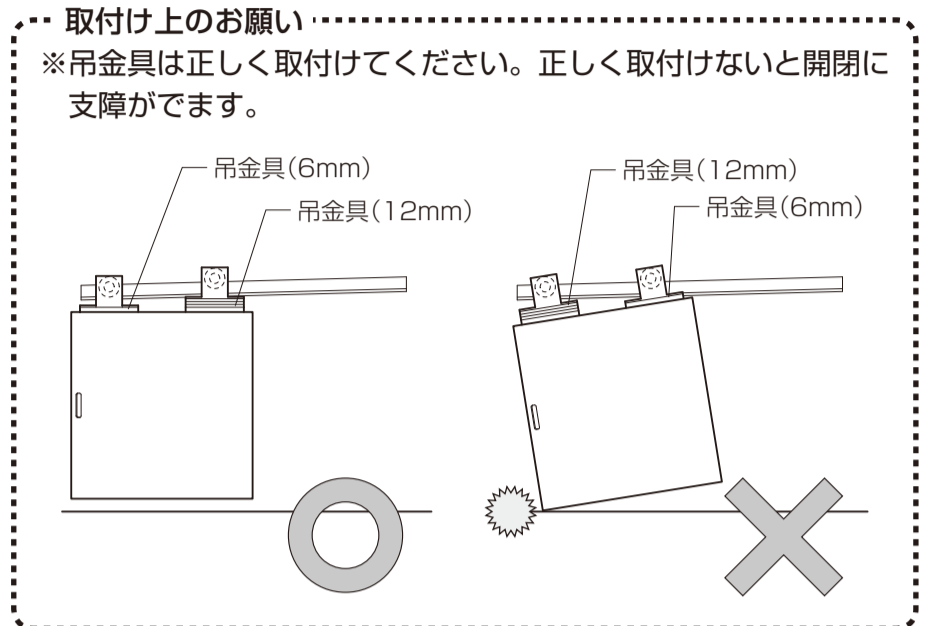
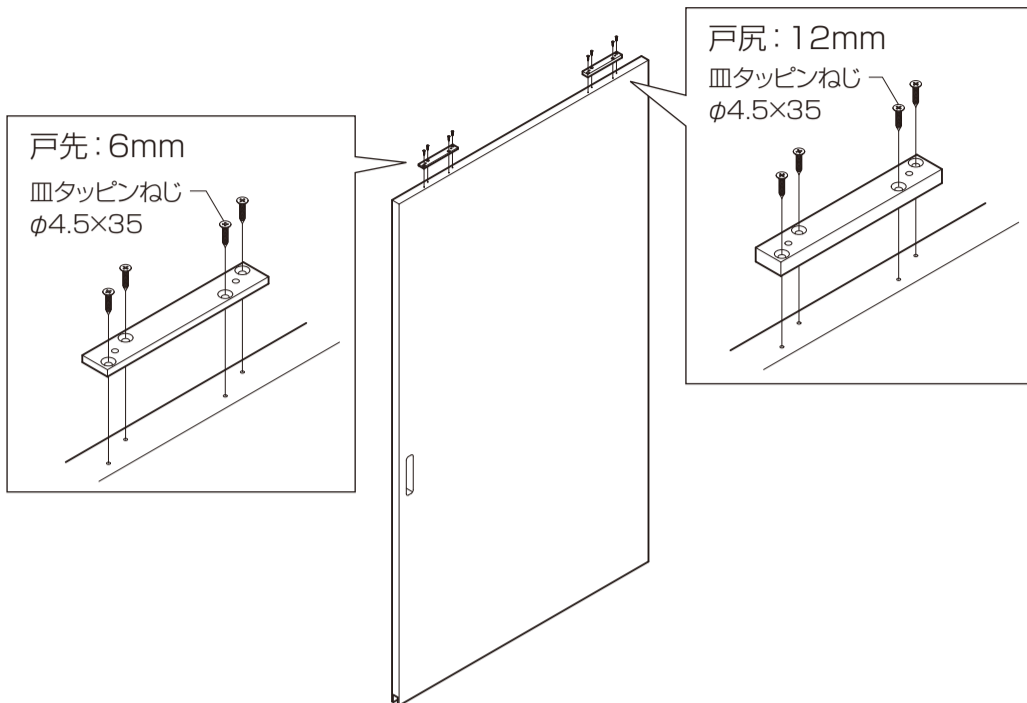
お願い

※コンクリート下地に取付ける場合は、同梱のカールプラグを使用してください。(下穴φ7×35mm以上)

※三方枠納まりで中縦枠取付けガイドピンを取付ける場合は、中縦枠取付けガイドピンに同梱の取付け説明書をご覧ください。

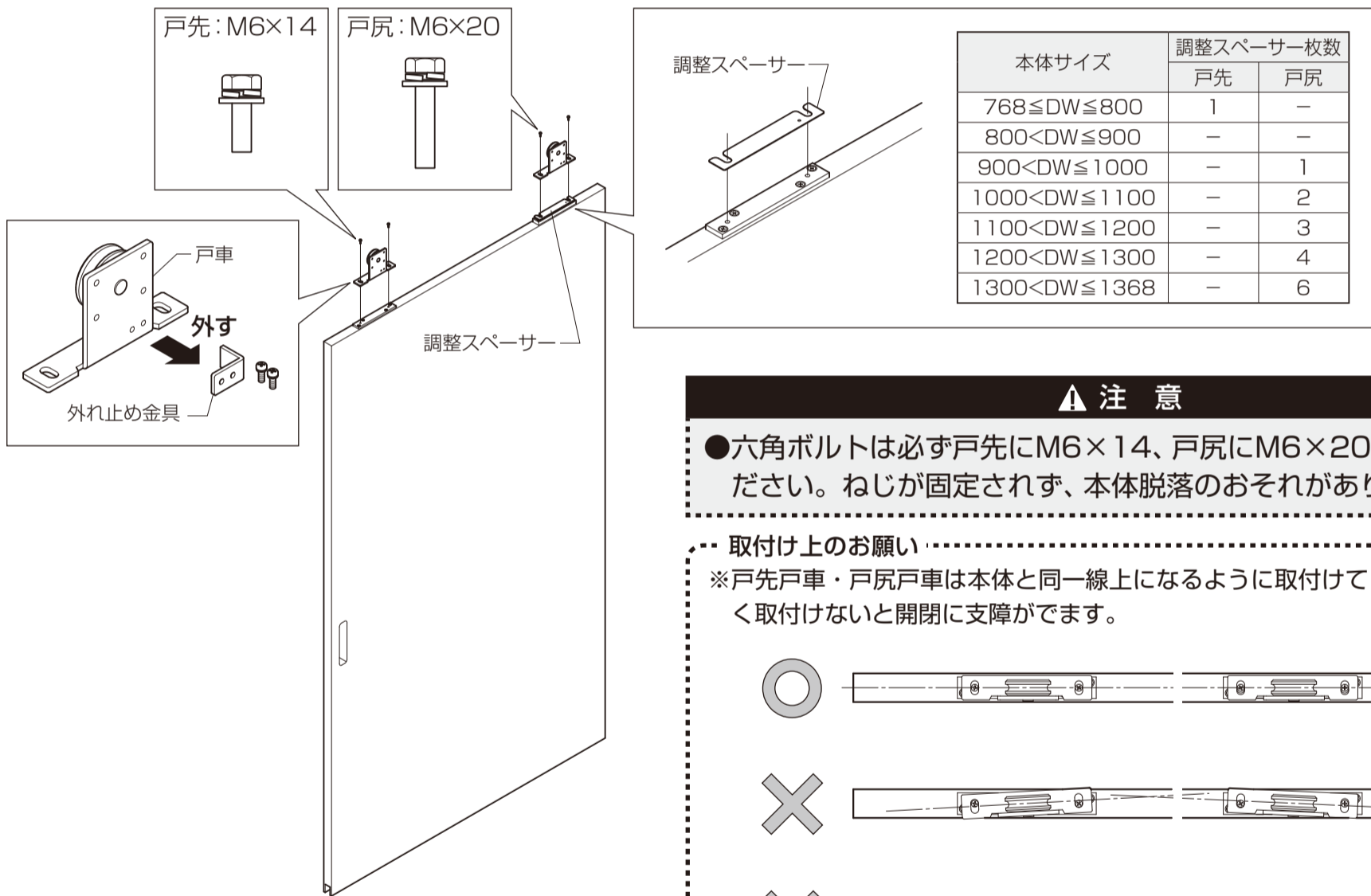
## 6 本体の部品付け

①本体に吊金具を皿タップピンねじφ4.5×35で固定してください。



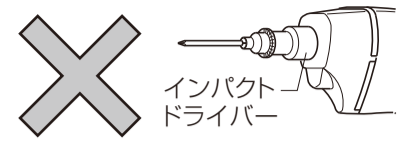
②外れ止め金具を戸車から外してください。

③調整スペーサーを表の通りに入れ、戸車を六角ボルトで固定してください。

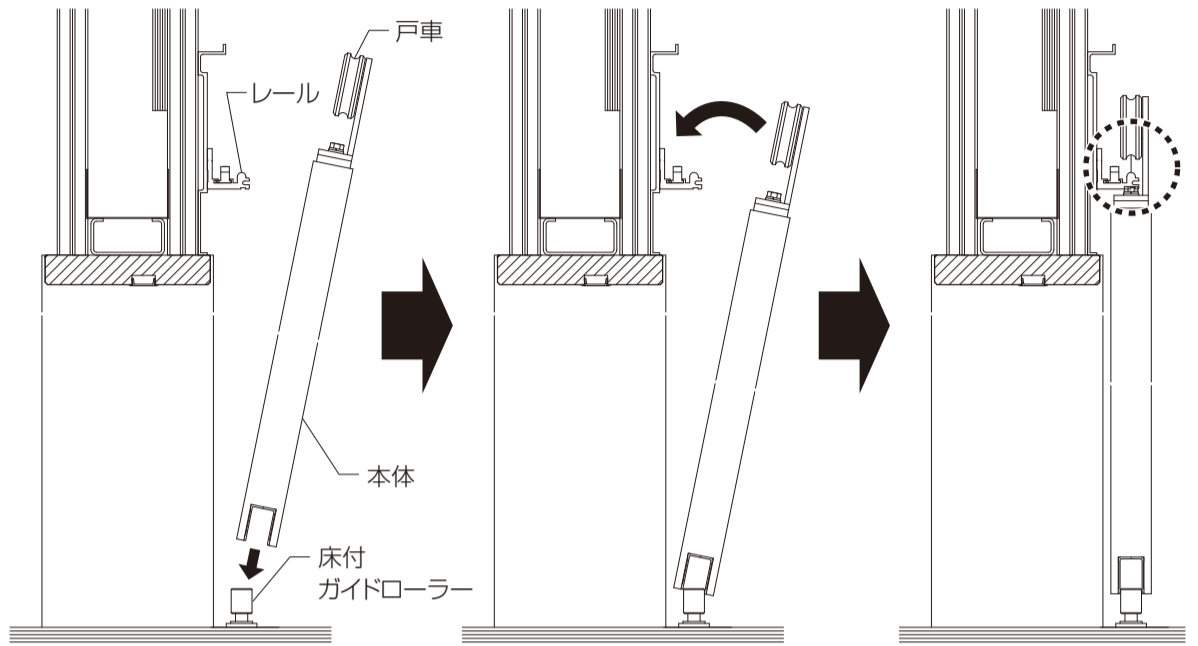
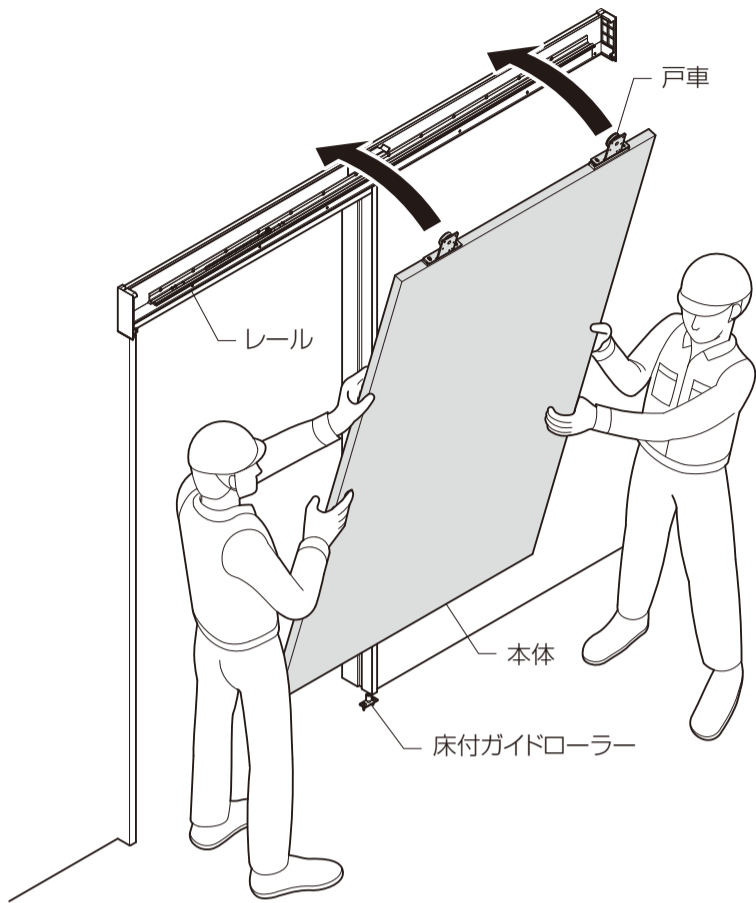


## 7 本体の吊りこみ

- ①本体の下部溝を床付ガイドローラーに入れてください。
- ②戸車をレールの上に乗せてください。

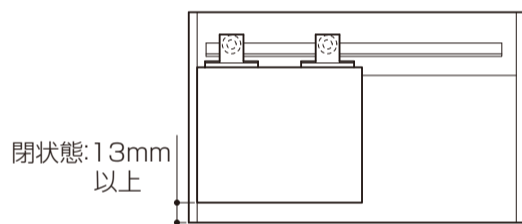


取付け上のお願い  
※吊りこみは2人で行ってください。

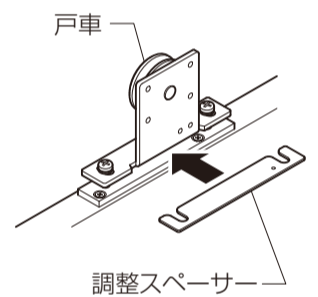
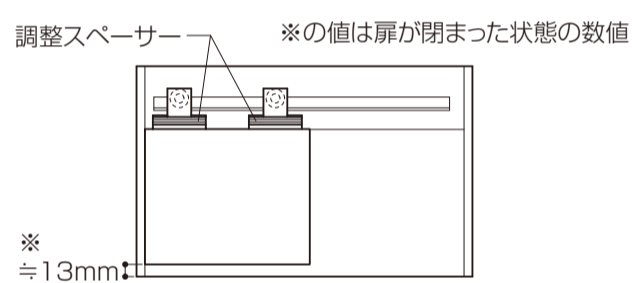


- ③吊りこみ後に床とのチリを調整してください。

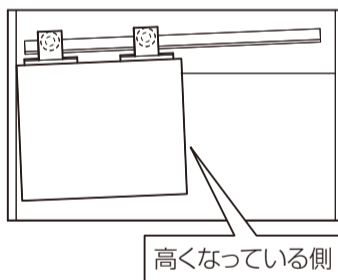
### ●扉の位置が高すぎる場合



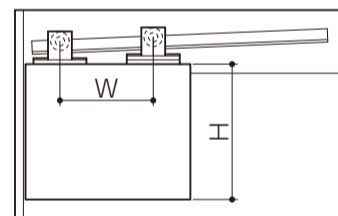
戸先と戸尻の戸車下に同数ずつ調整スペーサーを挿入



### ●縦枠との水平垂直がでない場合

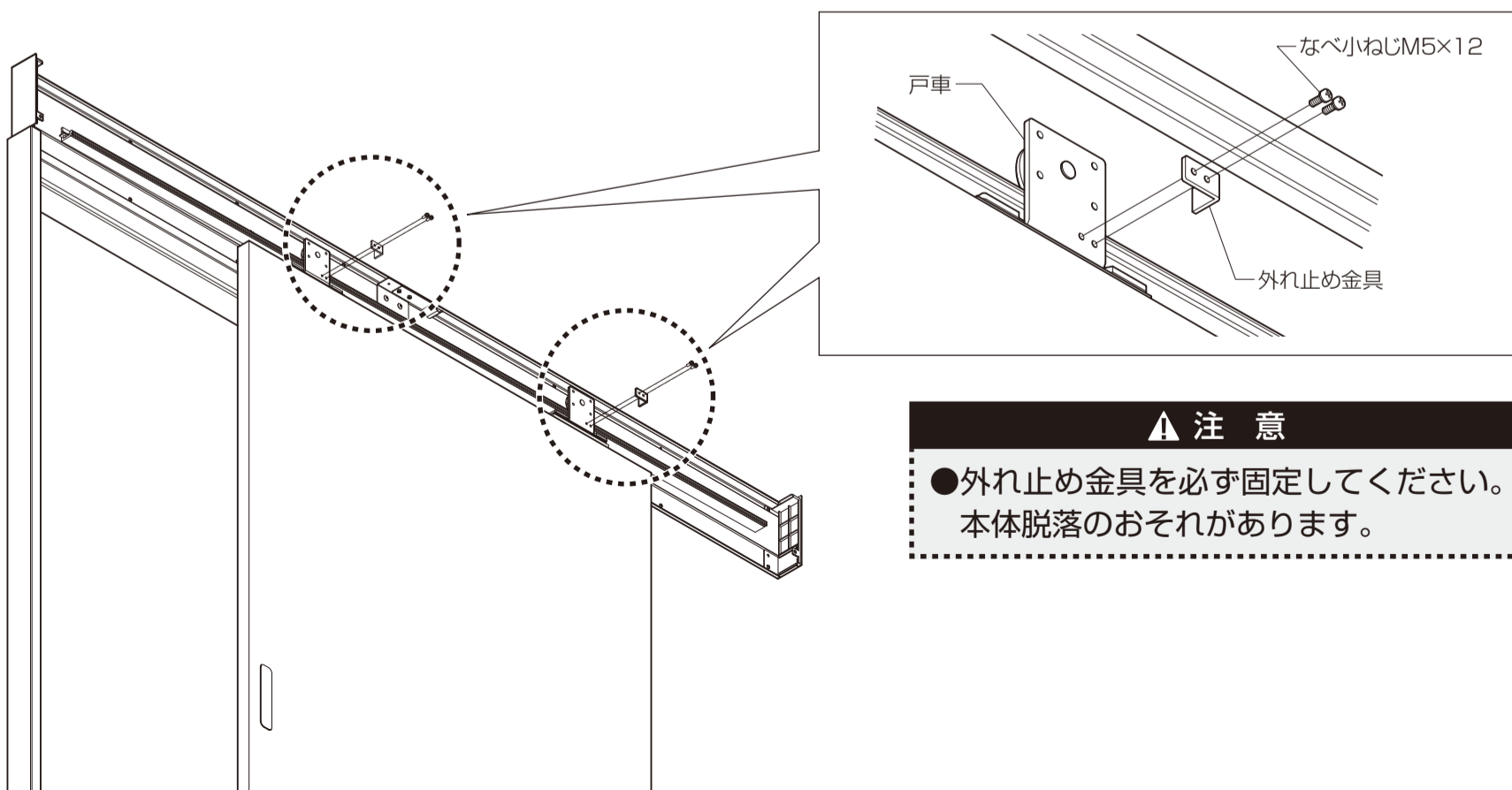


高くなっている側の戸車下に調整スペーサーを必要な数量だけ挿入



※調整スペーサー1枚でH/Wmm調整できます。

- ④外れ止め金具をなべ小ねじM5×12で固定してください。



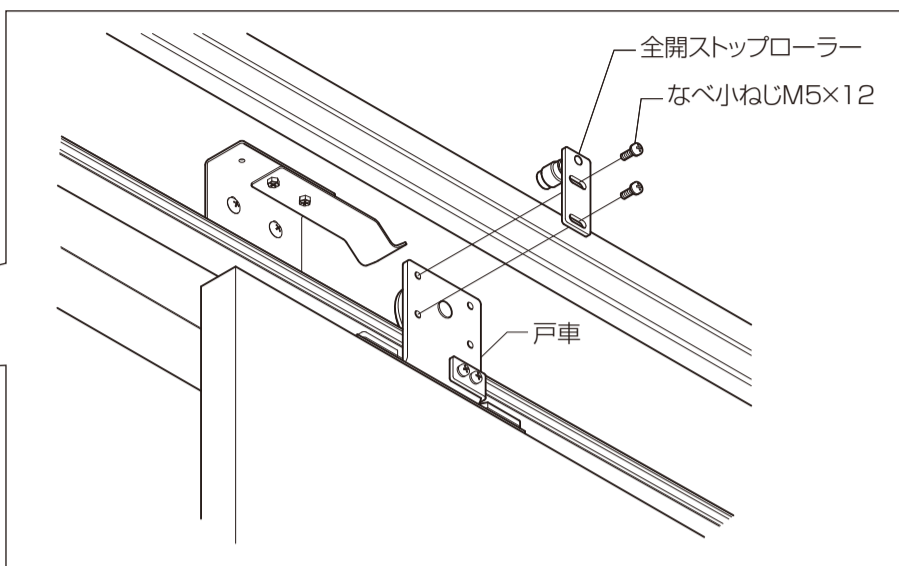
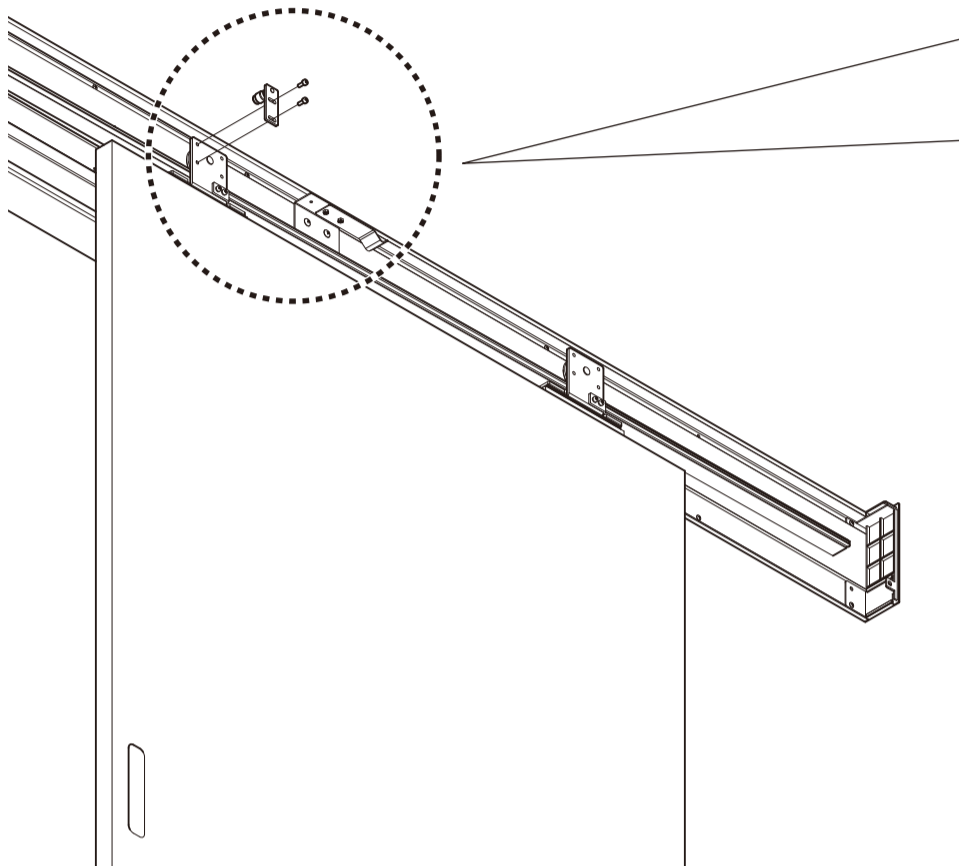
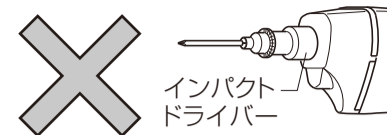
### ▲ 注意

●外れ止め金具を必ず固定してください。本体脱落のおそれがあります。



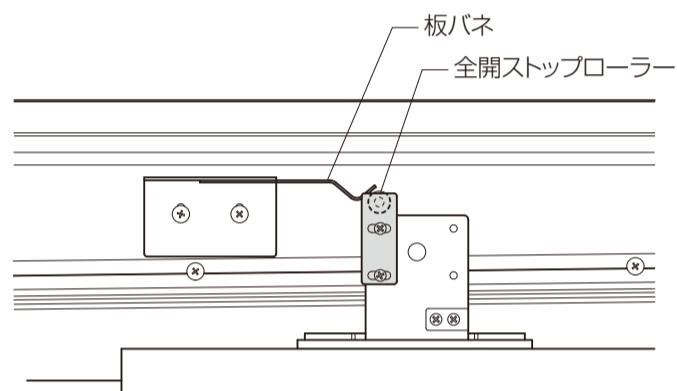
## 8 本体部品の取付け

- ①戸先に全開ストップローラーをなべ小ねじM5×12で固定してください。  
 ※常時閉鎖式への対応が必要な場合は、全開ストップローラーを取付けないでください。



### 取付け上のお願

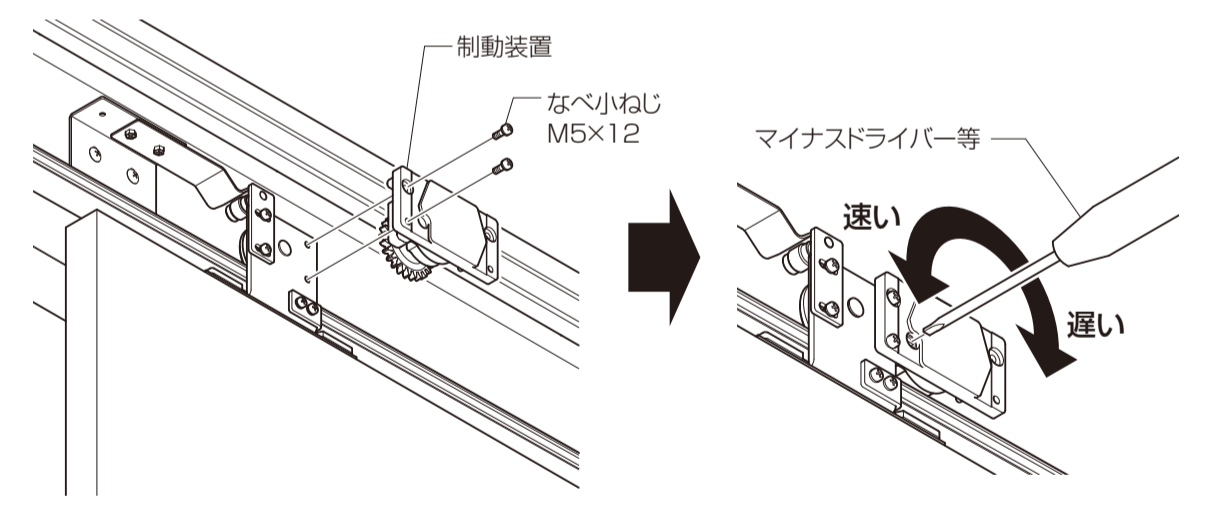
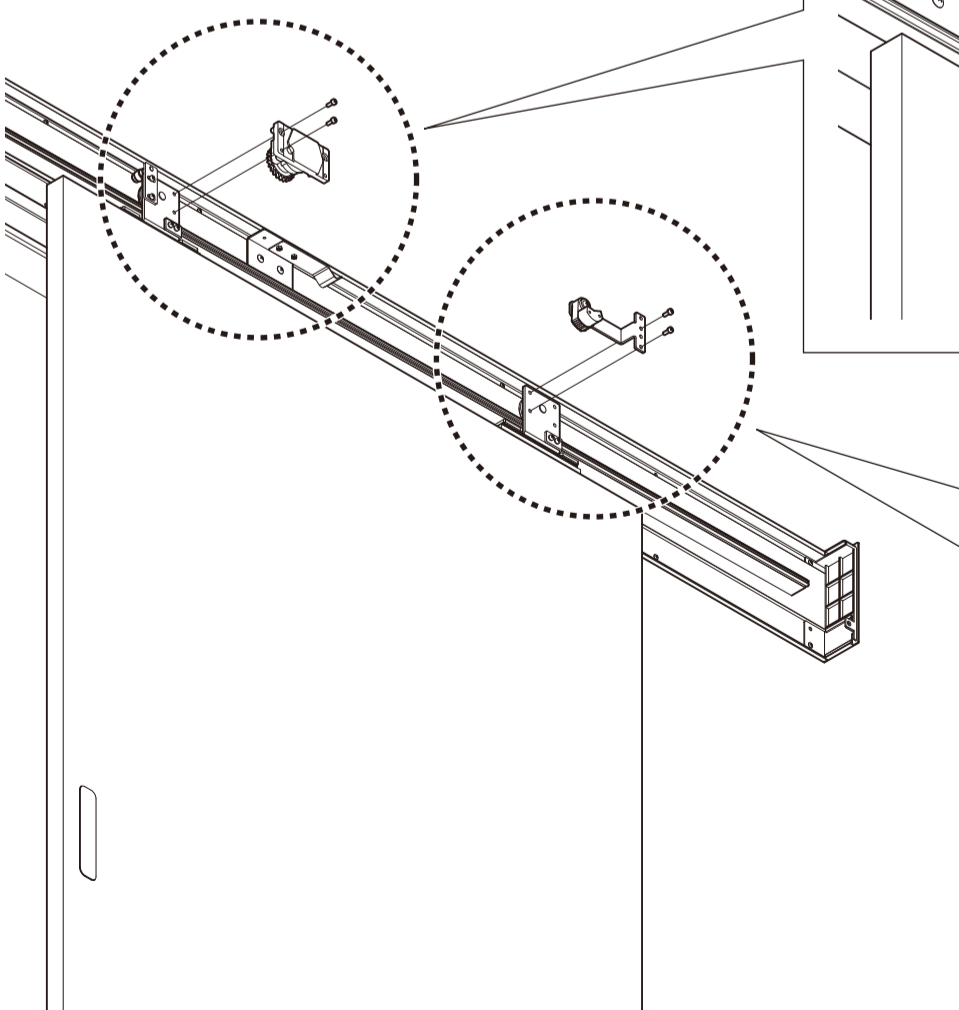
- ※全開時に板バネと全開ストップローラーがあたるように取付けてください。



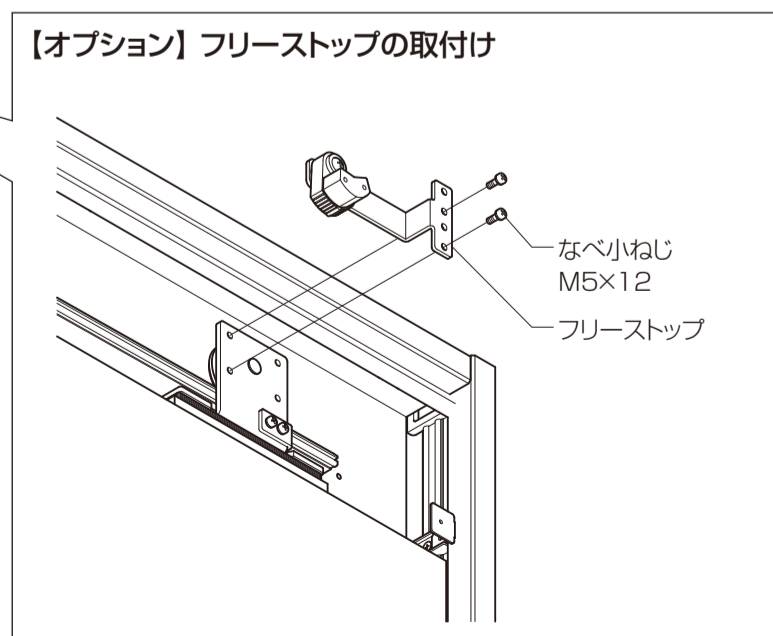
※図は左勝手の場合です。

- ②戸先に制動装置をなべ小ねじM5×12で固定してください。  
 ③本体が全開状態から問題なく閉まることを確認してください。閉まらない場合は、制動装置でブレーキ力の調整をしてください。  
 ④戸尻にフリーストップをなべ小ねじM5×12で固定してください。(オプション)

制動装置取付け後、マイナスドライバー等でブレーキ力の調整をしてください



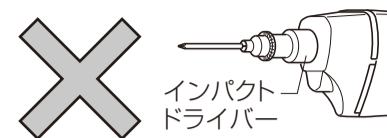
### 【オプション】フリーストップの取付け



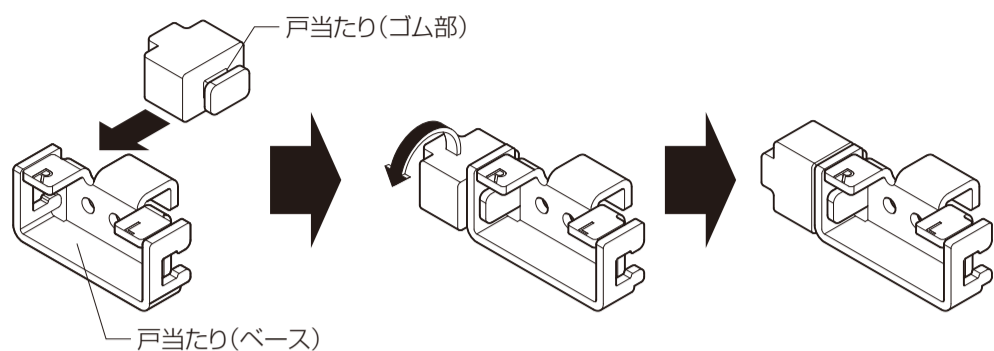
※図は左勝手の場合です。

## 9 戸当たりの取付け

① 戸当たり(ベース)に戸当たり(ゴム部)を取付けてください。



インパクト  
ドライバー



取付け上のお願ひ

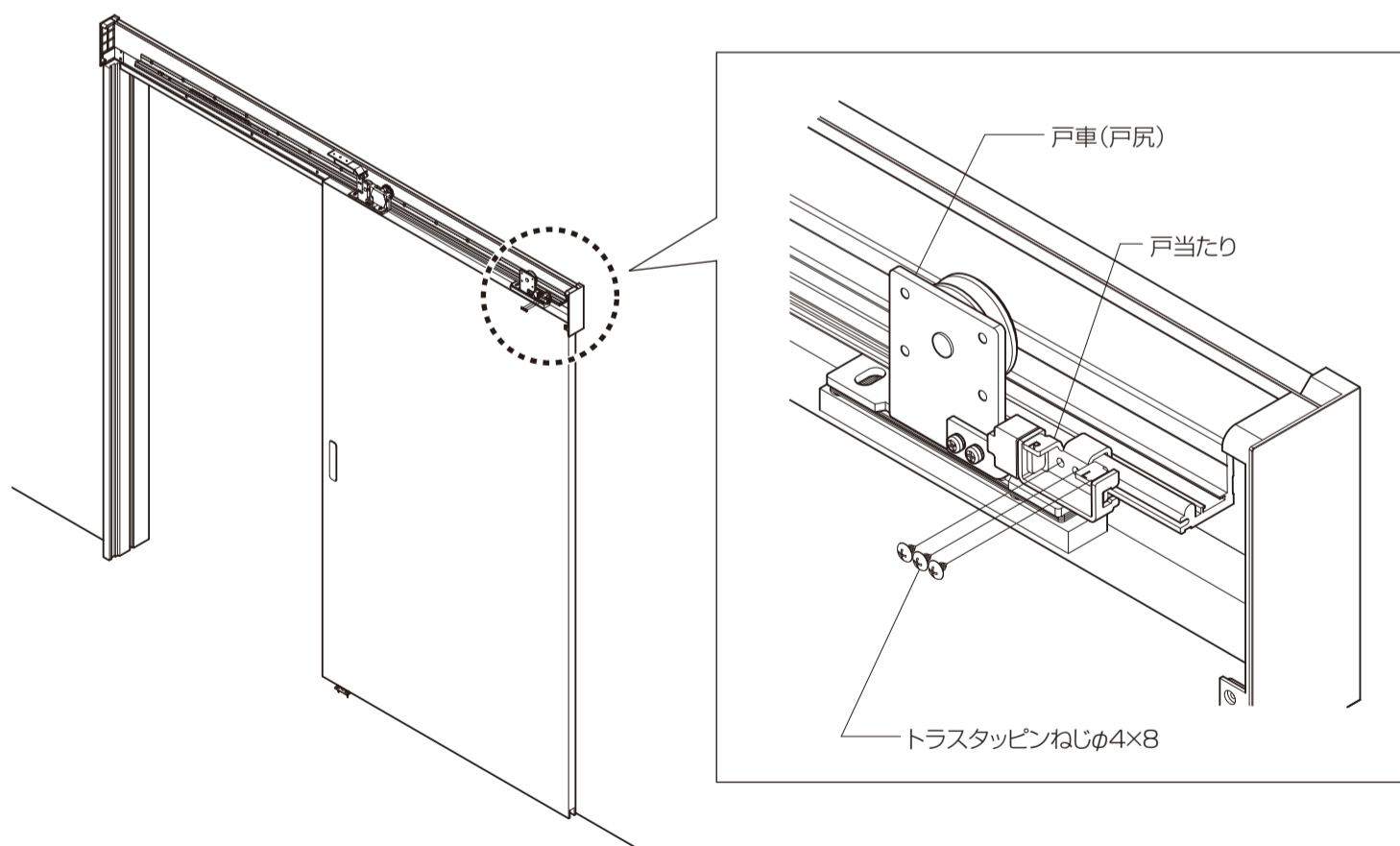
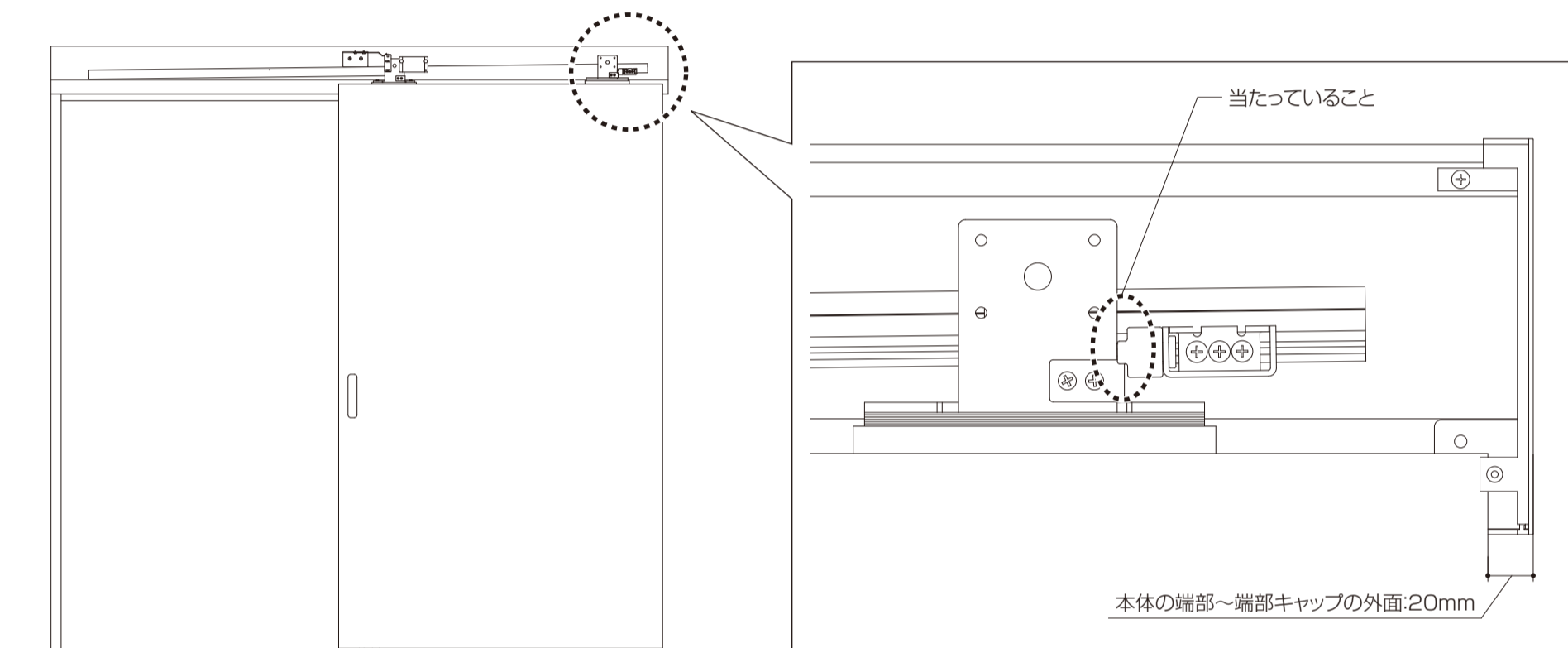
※ 本体の建付け調整後に取付けてください。

※ ねじ固定の前に戸当たり(ゴム部)の挿入向きが正しいことを確認してください。

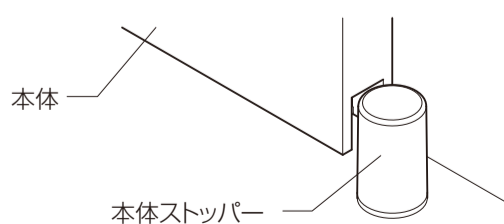
※ 図は左勝手の場合です。右勝手の場合は、戸当たり(ゴム部)は反対側に取り付けてください。

② 本体を全開状態にしてください。

③ 戸当たりが戸車(戸尻)に当たった状態でトラスタッピンねじφ4×8で固定してください。



## 10 本体ストッパーの取付け



取付け上のお願ひ

※ 本体の建付け調整後に取付けてください。

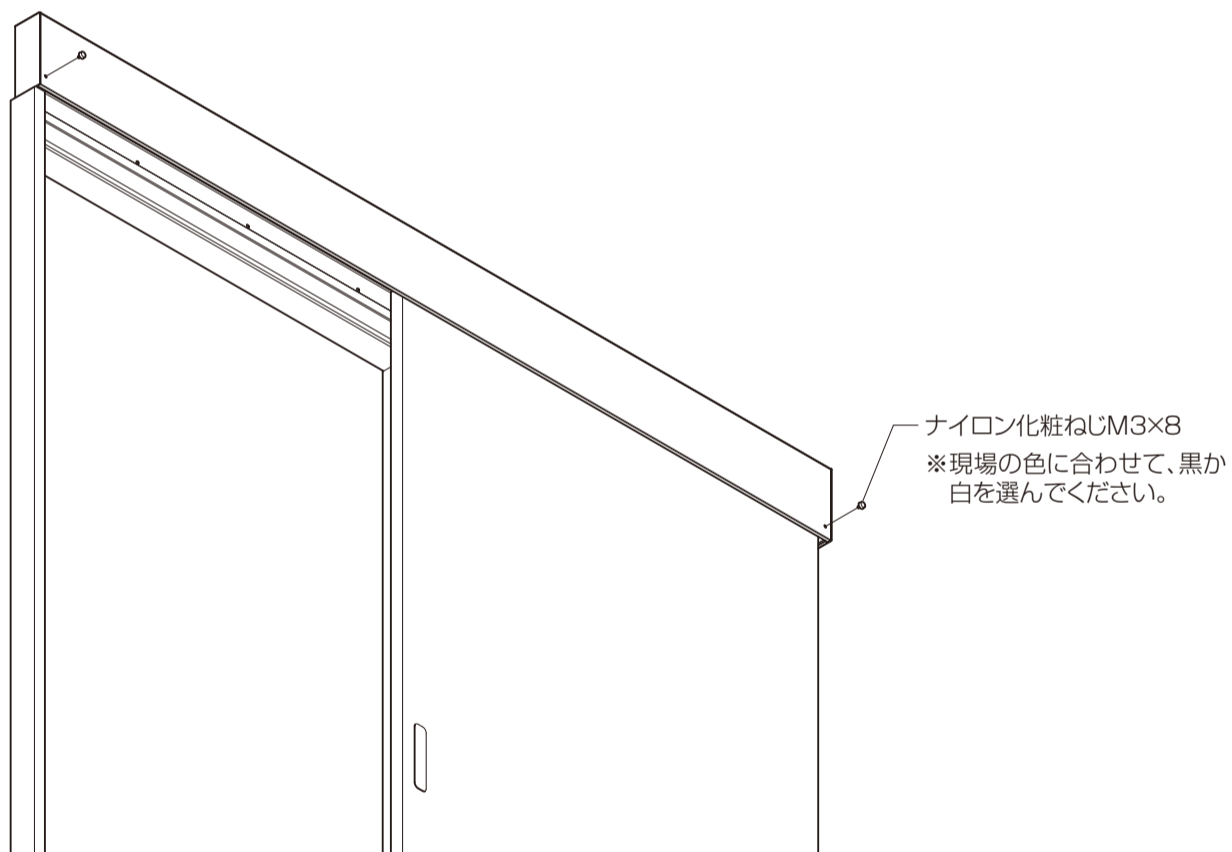
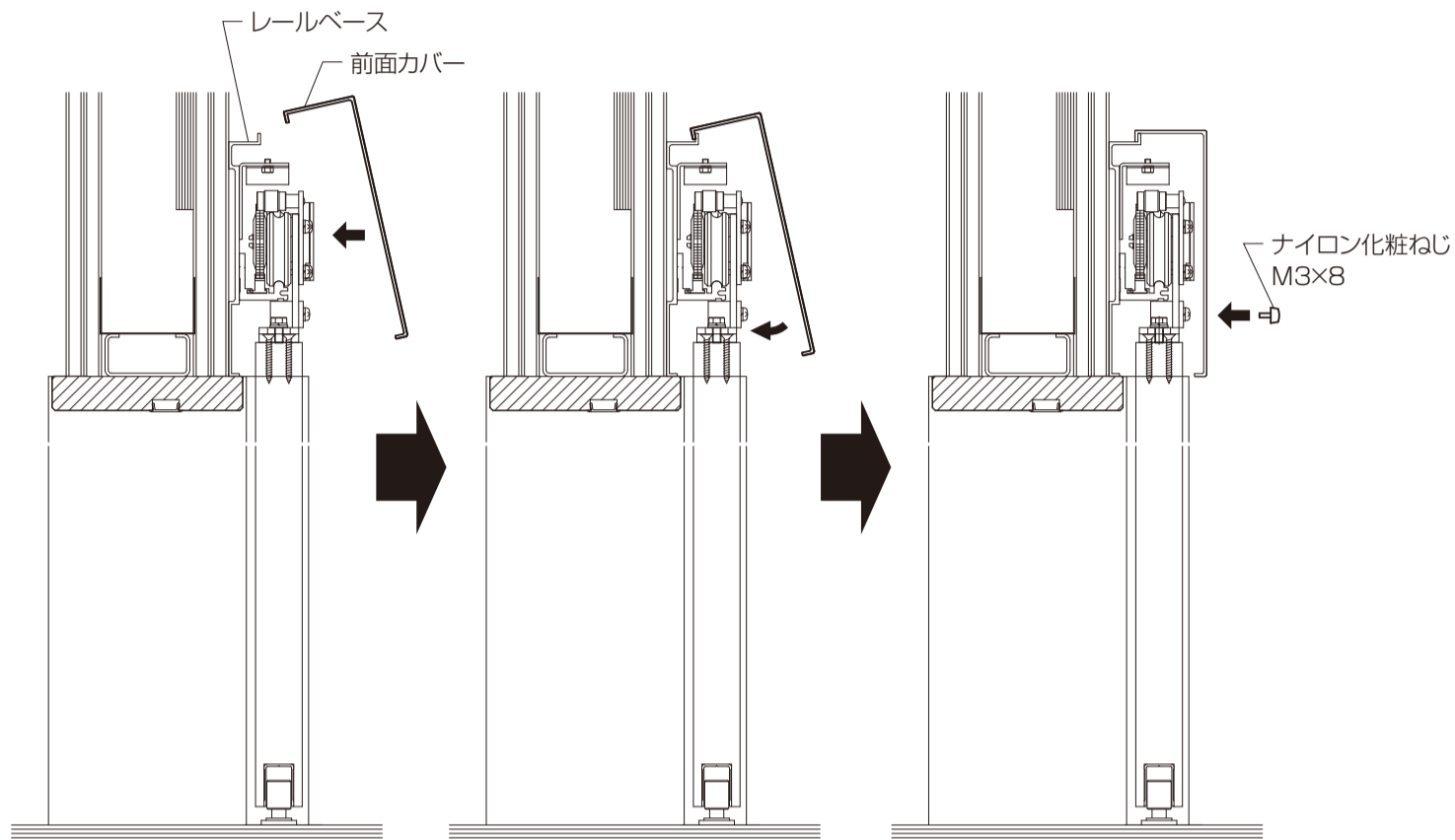
※ 戸車が戸当たり(ゴム部)に当たった状態で、本体ストッパーの位置出しをしてください。位置がずれると、開閉に支障がでるおそれがあります。

本体ストッパーの取付けについては、本体ストッパーに同梱の取付け説明書をご覧ください。

## 11 前面カバーの取付け

●前面カバーをレールベースに引っ掛けるように取付け、ナイロン化粧ねじM3×8で固定してください。

取付け上のお願ひ  
※取付けは2人で行ってください。



## 12 バーハンドルの取付け

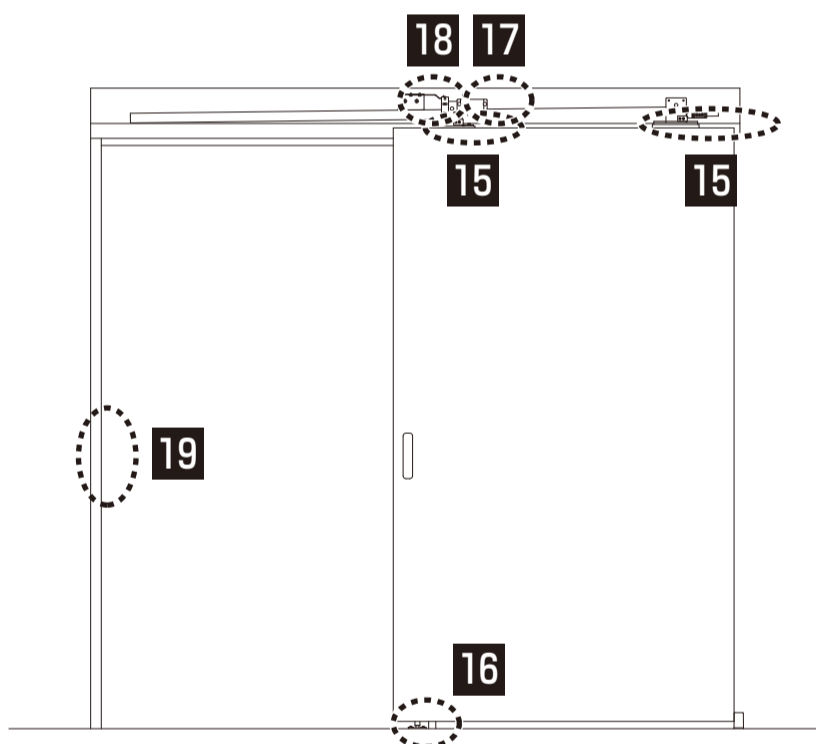
バーハンドルの取付けについては、バーハンドルセットに同梱の取付け説明書をご覧ください。  
また、バーハンドルに同梱の戸当たりは使用しません。

## 13 錠の取付け

錠の取付けについては、錠セットに同梱の取付け説明書をご覧ください。

## 14 異常時の対処方法

No.	現象	チェックポイント	対処方法
1	本体が開閉できない	戸車が脱輪している	本体を正しく吊り直してください。 <参照> <b>17</b> 本体の吊りこみ
		戸車が同一線上に並んでいない	戸車が本体と同一直線上になるよう取付けてください。 <参照> <b>15</b> 戸車の位置調整
2	開閉が重い	床付ガイドローラーと本体がこすれている	床付ガイドローラーと本体がこすれないように調整してください。 <参照> <b>16</b> 床付ガイドローラーの調整
3	本体が最後まで閉まらない	ブレーキ力が強すぎる	制動装置の調整をしてください。 <参照> <b>17</b> ブレーキ力の調整
4	本体を閉めた時にブレーキがかからない	ブレーキ力が弱すぎる	制動装置の調整をしてください。 <参照> <b>17</b> ブレーキ力の調整
5	全開時に本体が閉まってしまう	全開ストップローラーの位置がずれている	全開ストップローラーの調整をしてください。 <参照> <b>18</b> ストップ位置の調整
6	鍵がかからない/ かかりが甘い (本体と縦枠にすき間が開く)	本体が傾いている	本体の位置を調整してください。 <参照> <b>15</b> 戸車の位置調整
		ストライク調整が不適當	ストライクを調整してください。 <参照> <b>19</b> 引戸錠のかかり調整



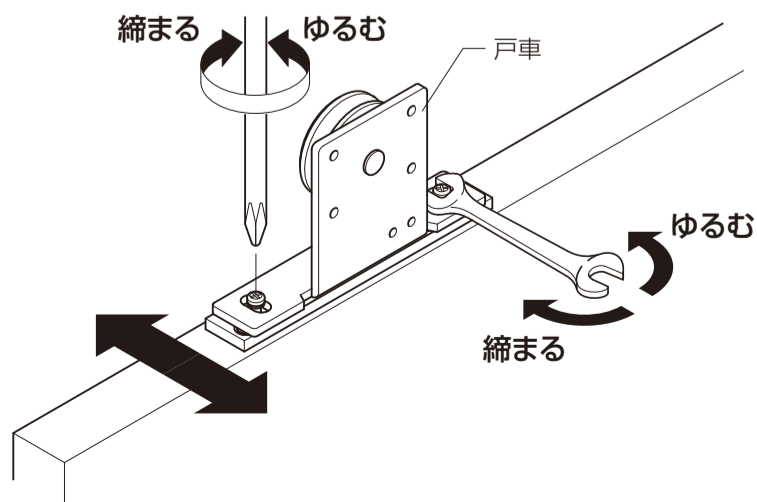
- 15** 戸車の位置調整
- 16** 床付ガイドローラーの調整
- 17** ブレーキ力の調整
- 18** ストップ位置の調整
- 19** 引戸錠のかかり調整

### 15 戸車の位置調整

前後調整幅約5mm

<スパナの場合> ※スパナ：10mm

- ① 前面カバーを取外します。
- ② スパナで六角ボルトをゆるめ、戸車を動かします。
- ③ スパナで六角ボルトをしっかりと固定します。
- ④ 前面カバーを取付けます。



<プラスドライバーの場合>

- ① 前面カバーを取外します。
- ② 本体から外れ止め金具・制動装置を取り外します。
- ③ 本体を枠から外します。
- ④ プラスドライバーで六角ボルトをゆるめ、戸車を動かします。
- ⑤ プラスドライバーで六角ボルトをしっかりと固定します。
- ⑥ 枠に本体を吊りこみ、外れ止め金具・制動装置を取付けます。
- ⑦ 前面カバーを取付けます。



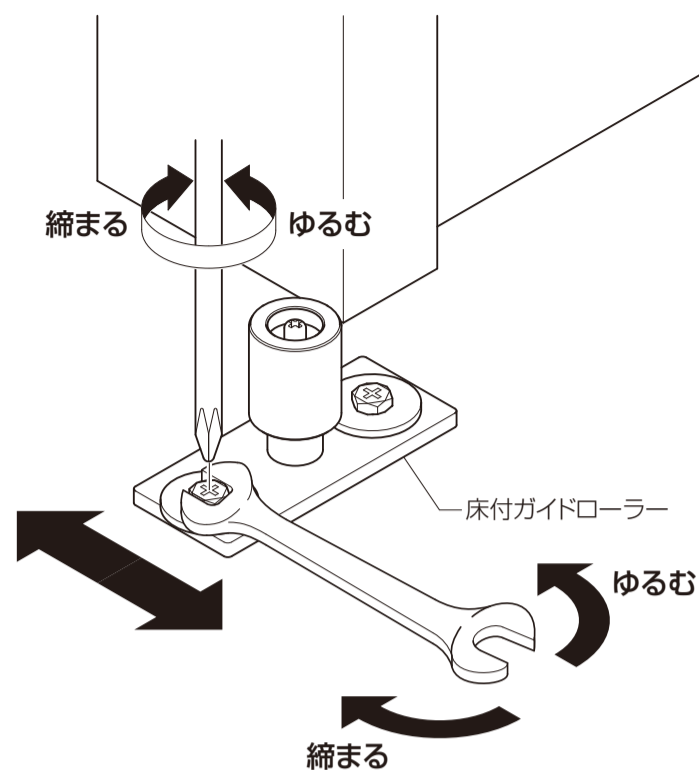
## 16 床付ガイドローラーの調整

<スパナの場合> ※スパナ：7mm

- ①スパナで六角タッピンねじをゆるめ、床付ガイドローラーを動かします。
- ②スパナで六角タッピンねじをしっかりと固定します。

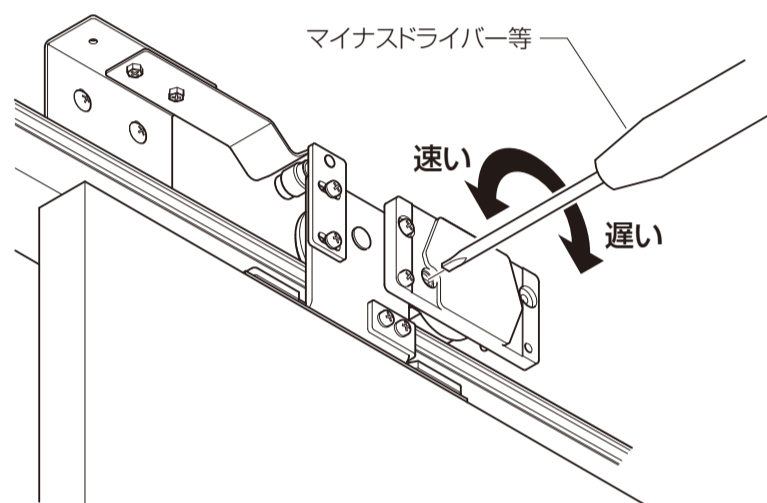
<プラスドライバーの場合>

- ①前面カバーを取外します。
- ②本体から外れ止め金具・制動装置を取り外します。
- ③本体を枠から外します。
- ④プラスドライバーで六角タッピンねじをゆるめ、床付ガイドローラーを動かします。
- ⑤プラスドライバーで六角タッピンねじをしっかりと固定します。
- ⑥枠に本体を吊りこみ、外れ止め金具・制動装置を取付けます。
- ⑦前面カバーを取付けます。



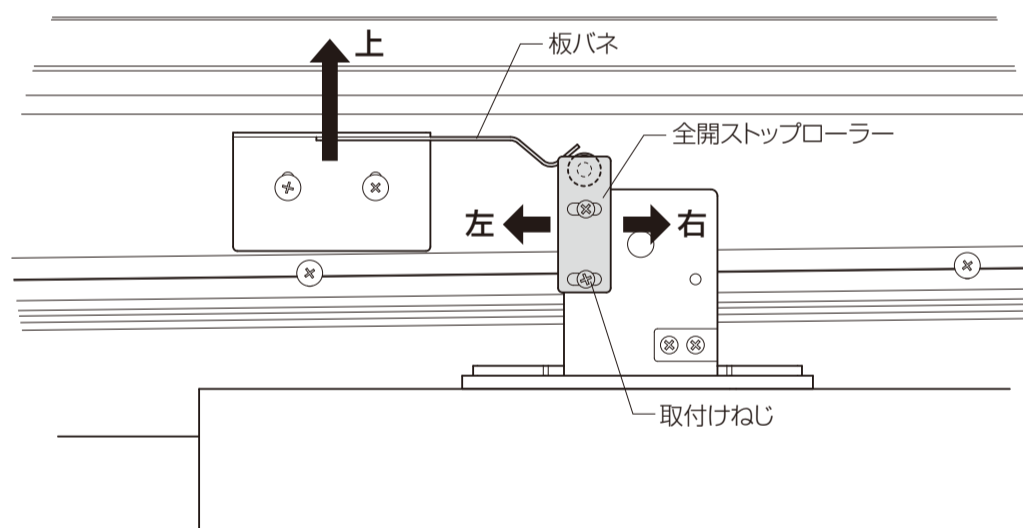
## 17 ブレーキ力の調整

マイナスドライバーで制動装置を右に回すとブレーキ力が強く(本体がゆっくり閉まる)、左に回すとブレーキ力が弱く(本体が早く閉まる)なります。



## 18 ストップ位置の調整

取付けねじをゆるめ、全開ストップローラーを左右に動かします。  
※全開ストップローラーが板バネに強くあたる場合は、板バネの取付けねじをゆるめ上に上げてください。

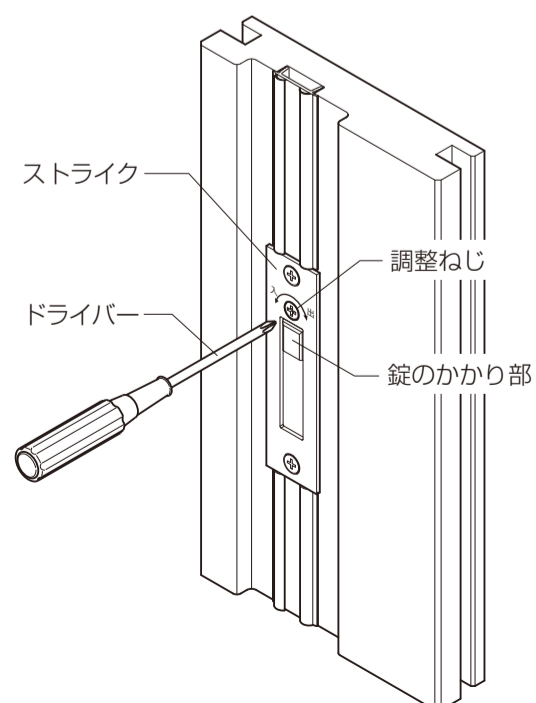


## 19 引戸錠のかかり調整

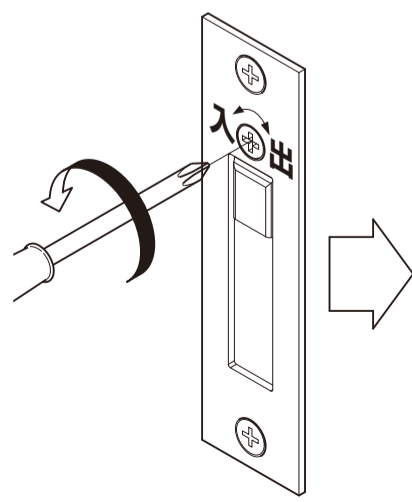
ストライクの調整ねじを右に回すと錠のかかり部が出て、左に回すと錠のかかり部が奥に入ります。

※美和ロックFG3D錠のストライクには、錠のかかり調整機能は付いていません。

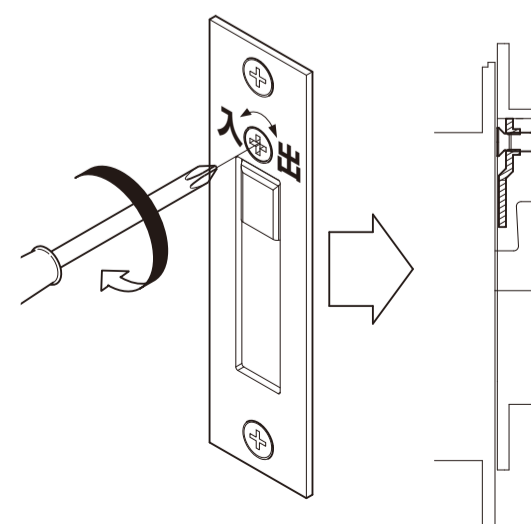
調整が必要な場合は本体の上下・左右調整で対応してください。



● 本体と枠のすき間が大きい場合  
調整ねじを左に回して調整してください。



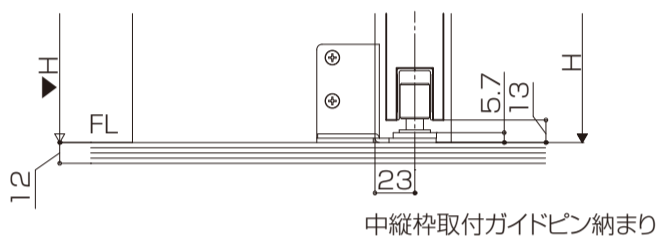
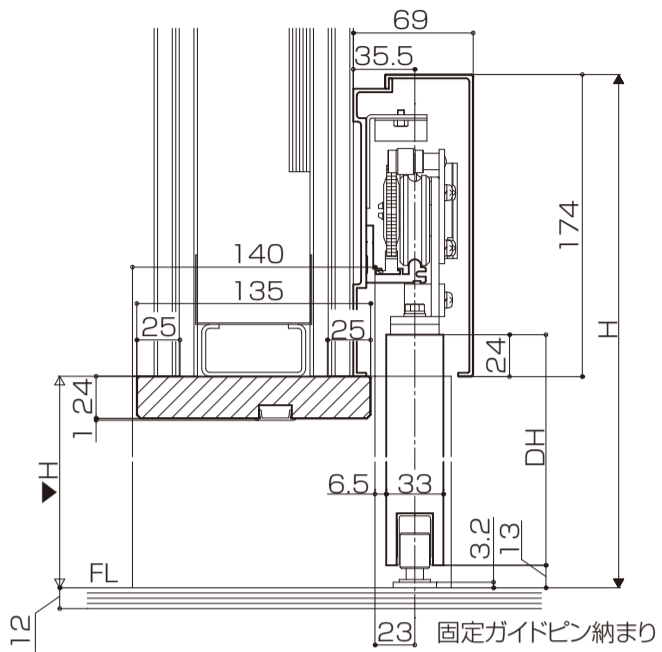
● 錠がかかりにくい場合  
調整ねじを右に回して調整してください。



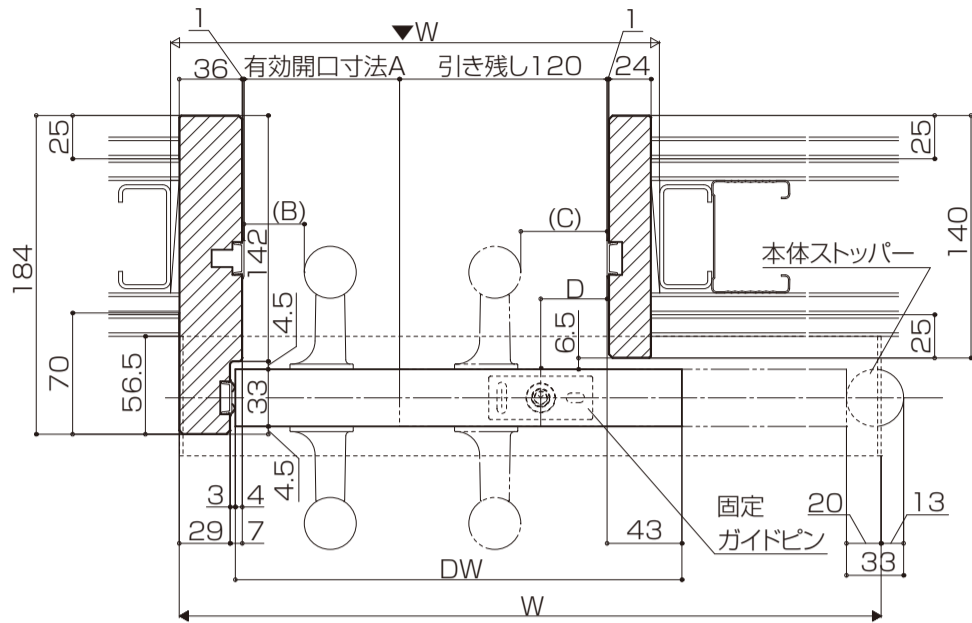
■納まり図

●アウトセット方式 片引戸(自閉機能)三方枠 NC140

縦断面図



横断面図



有効開口寸法

W呼称(枠外寸法)	A寸法
W20 (2025)	900
W22 (2225)	1000
W26 (2625)	1200

算出式: A寸法 = (W-225) / 2  
DW寸法 = (W+111) / 2

※この図は両側バーハンドルの例です。  
※この図は固定ガイドピンの例です。

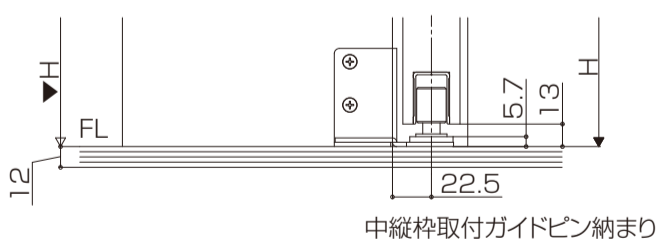
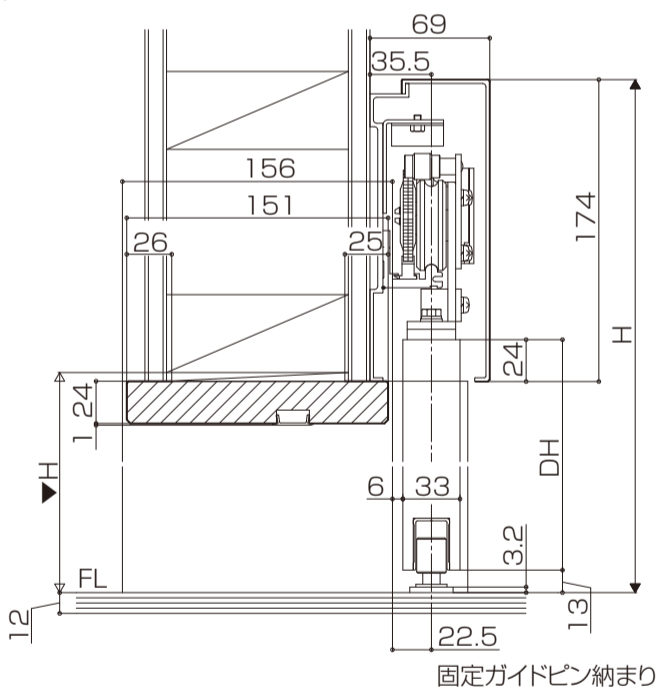
	B	C
バーハンドル	35	50
バーハンドルD型	32	57
バーハンドルR型	30	55

ガイドピン位置

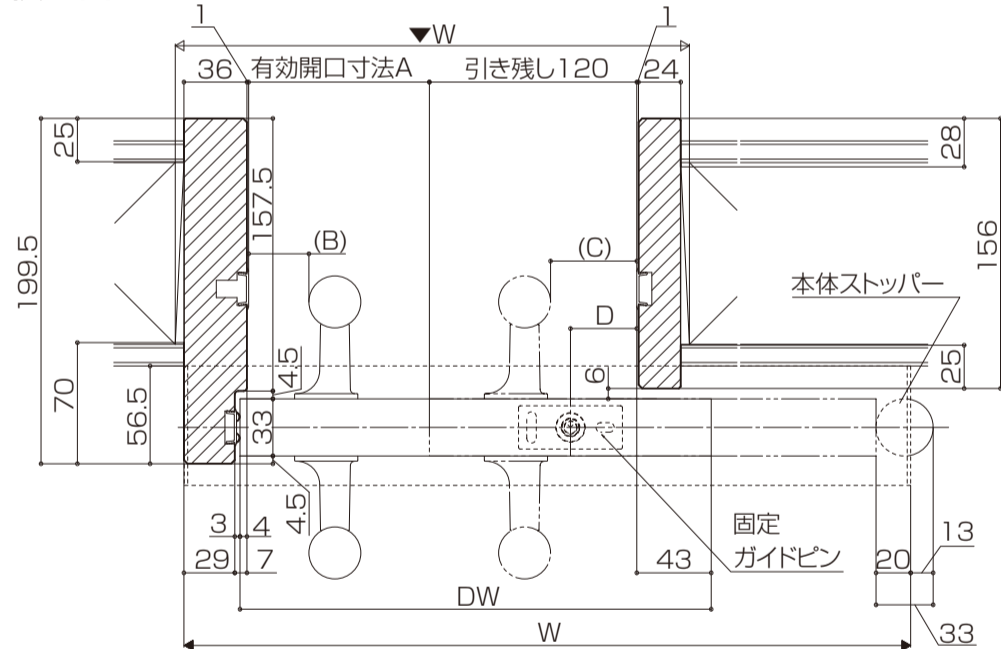
ガイドピン種類	D
固定ガイドピン	38.5
中縦枠取付けガイドピン	8.5

●アウトセット方式 片引戸(自閉機能)三方枠 NC156

縦断面図



横断面図



有効開口寸法

W呼称(枠外寸法)	A寸法
W20 (2025)	900
W22 (2225)	1000
W26 (2625)	1200

算出式: A寸法 = (W-225) / 2  
DW寸法 = (W+111) / 2

※この図は両側バーハンドルの例です。  
※この図は固定ガイドピンの例です。

	B	C
バーハンドル	35	50
バーハンドルD型	32	57
バーハンドルR型	30	55

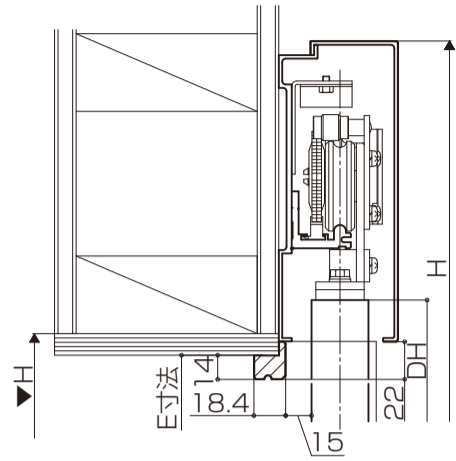
ガイドピン位置

ガイドピン種類	D
固定ガイドピン	38.5
中縦枠取付けガイドピン	8.5

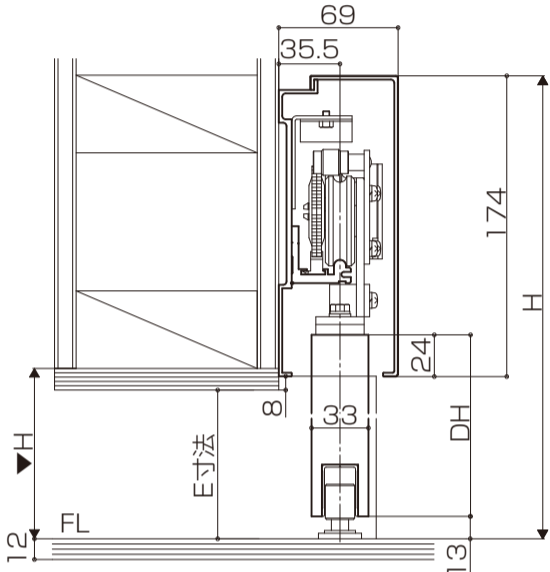
●アウトセット方式 片引戸(自閉機能)片面化粧縁

縦断面図

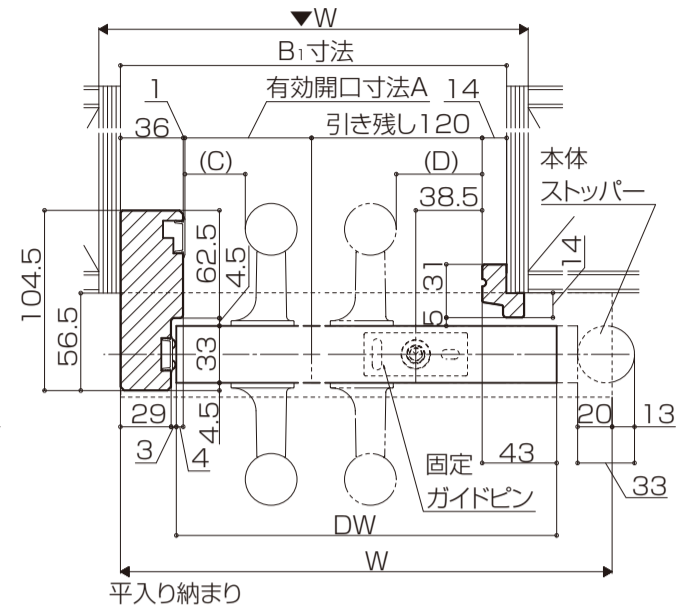
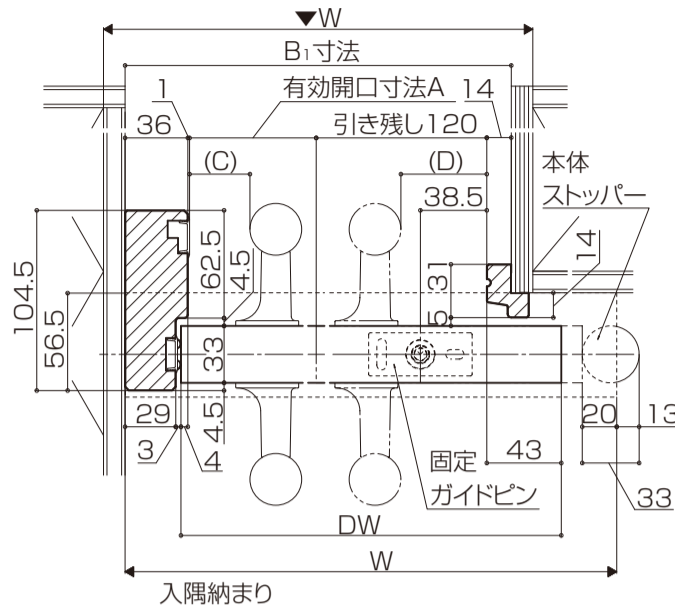
■上部化粧縁納まり



■化粧縁なし納まり



横断面図



有効開口寸法

W呼称(枠外寸法)	A寸法	B <sub>1</sub> 寸法
W20 (2025)	900	1071
W22 (2225)	1000	1171
W26 (2625)	1200	1371

H呼称(枠外寸法)	E寸法
H20 (2197)	2015

	B	C
バーハンドル	35	50
バーハンドルD型	32	57
バーハンドルR型	30	55

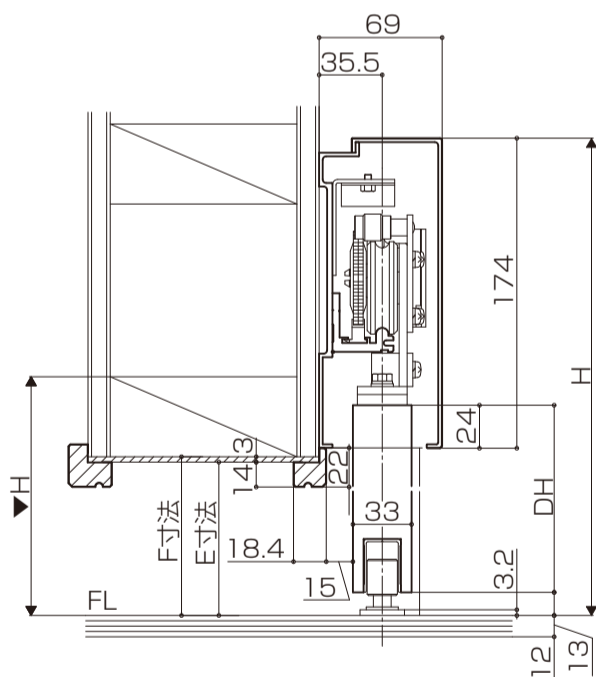
算出式

A寸法=(W-225)/2  
 B<sub>1</sub>寸法=(W+117)/2  
 E寸法=H-182  
 DW寸法=(W+111)/2

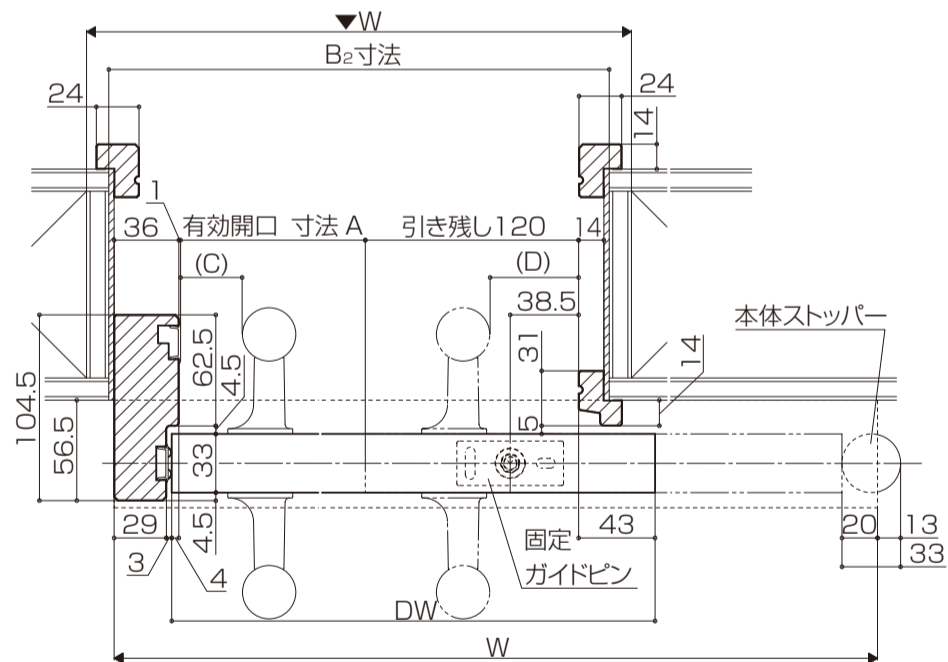
※この図は両側バーハンドルの例です。

●アウトセット方式 片引戸(自閉機能)両面化粧縁

縦断面図



横断面図



有効開口寸法

W呼称(枠外寸法)	A寸法	B <sub>2</sub> 寸法
W20 (2025)	900	1077
W22 (2225)	1000	1177
W26 (2625)	1200	1377

H呼称(枠外寸法)	E寸法	F寸法
H20 (2197)	2015	2018

	B	C
バーハンドル	35	50
バーハンドルD型	32	57
バーハンドルR型	30	55

算出式

A寸法=(W-225)/2  
 B<sub>2</sub>寸法=(W+129)/2  
 E寸法=H-182  
 F寸法=H-179  
 DW寸法=(W+111)/2

※この図は両側バーハンドルの例です。